

7. 家庭電気品

HOUSEHOLD ELECTRIC APPLIANCES

7.1 電動機応用品

7.1.1 扇風機

36年度の扇風機として特筆すべきことは長年扇風機の目標としてきた羽根音のしない高性能の羽根を完成し、高級扇クラス全機種に採用したことである。

以下それぞれ代表機種を紹介する。

(1) 20 cm トライアン

あらゆる角度にわたり俯仰が調節できるほか、半回転で風の高さが換えられるターンアップ式で、意匠的にも二様に使い分けできる特長をもつ新製品である。

(2) 30 cm アルカバ

日立扇風機の主力扇であって、新しく取線輪形モートル、および高性能3枚羽根を採用したロータリースイッチ付きの普及品である。

(3) 30 cm プライム

日立高級扇の代表機種で、流体力学上最高のハーモニックブレードを採用し、振動、騒音ともに解消され、技術的に大幅な改善がなされた。

(4) 30 cm プライムデラックス

同じハーモニックブレードを採用し、取はずし自由の3段切換押ボタン式リモートコントロールスイッチ機構を備えた最高級品である。

(5) 25 cm オートリープ

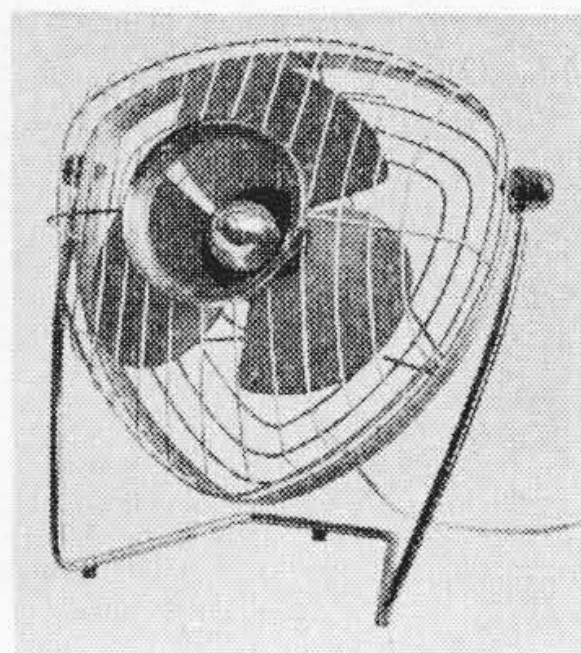
底部にバランススプリングを設けた高さの調節が手軽に操作できるお座敷扇である。

(6) 30 cm オートプライム

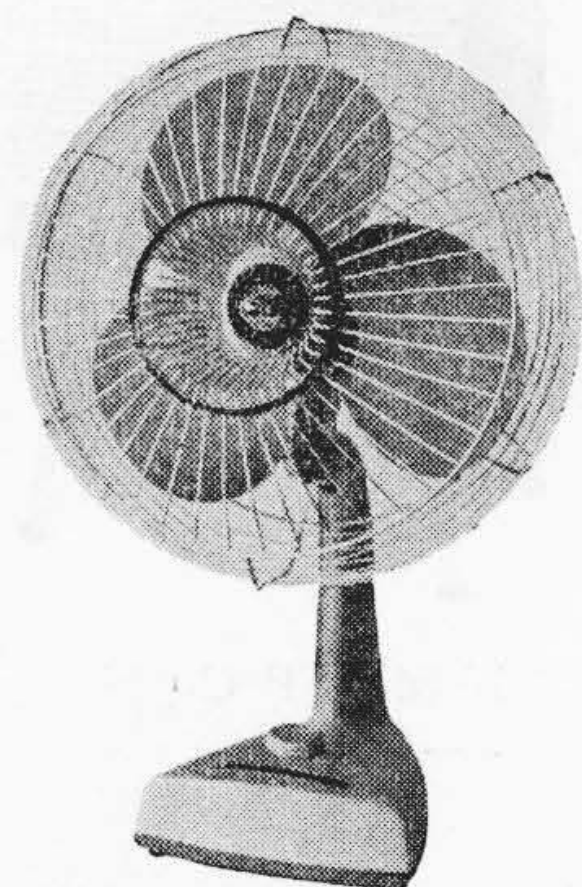
最高級お座敷扇であって、片手でハンドルを回し上下に調節できる日立独特の機構を有し、タイマー、押ボタンスイッチ、リモートスイッチなど、多数の付属機構を備え、デザイン性能とも業界随一の好評を博した。

7.1.2 換気扇

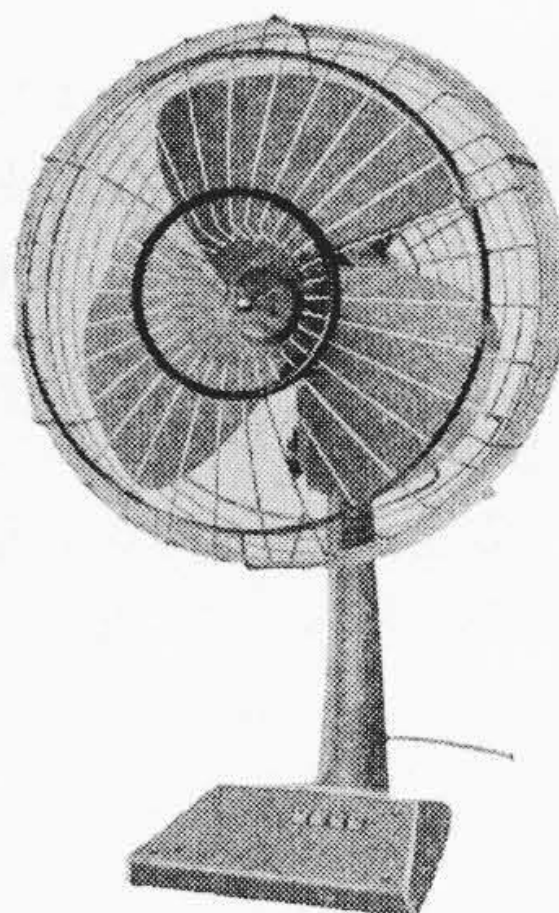
換気扇は従来大半が業務用に使用されていたが、近年一般家庭、



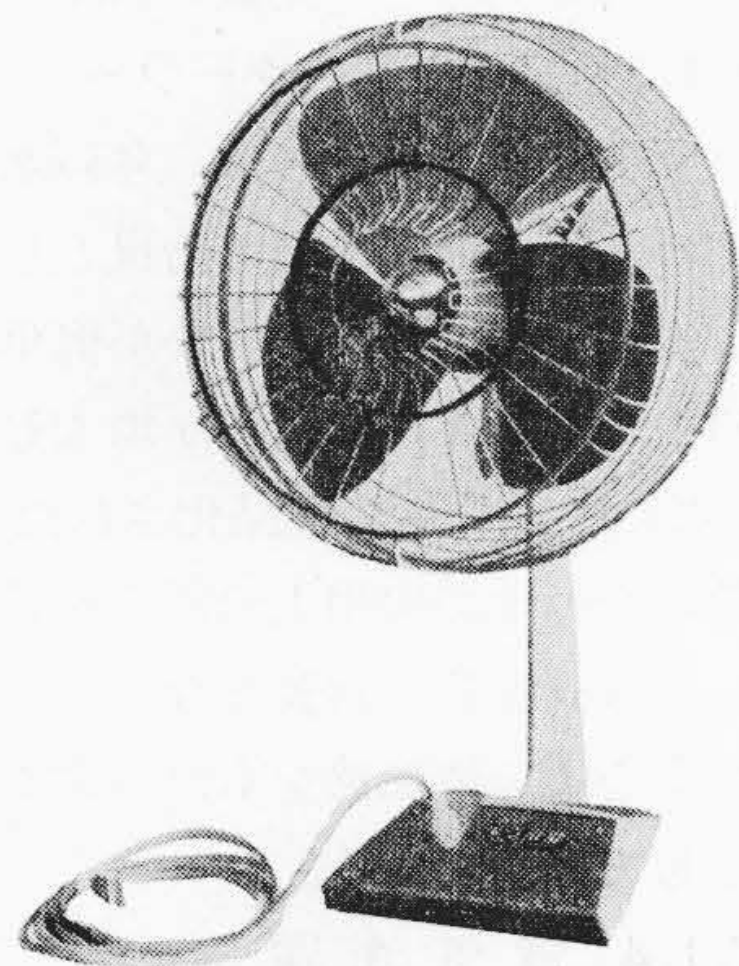
第1図 20 cm トライアン



第2図 30 cm アルカバ



第3図 30 cm プライム



第4図 30 cm プライムデラックス

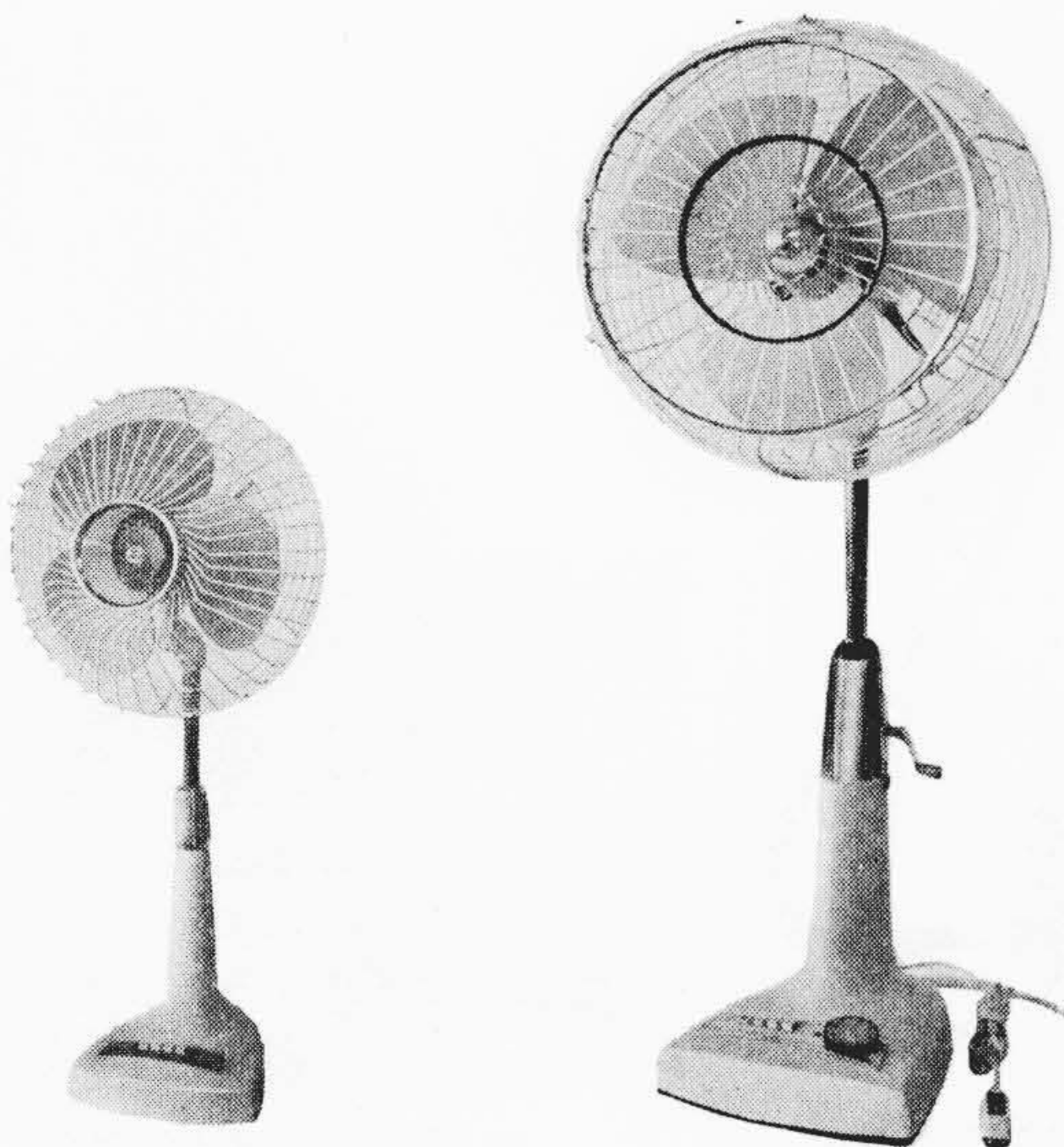
アパートにおける需要が目ざましく増加している。これに対応して36年度は15 cm 手動シャッタ式、25 cm 自動シャッタ式および30 cm 自動シャッタ式換気扇を完成した。

(1) 15 cm 手動シャッタ式換気扇

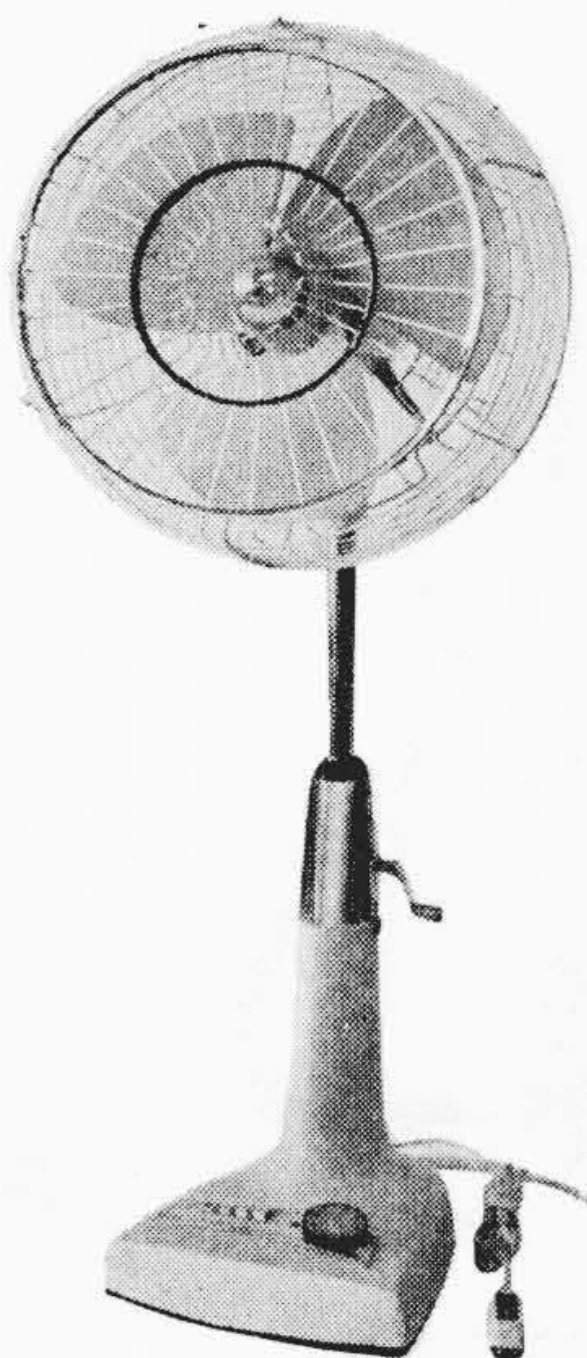
住宅公団仕様に基き設計したもので、羽根サイズに比し風量風圧特性がすぐれ、大きな風量と静圧が得られる。このほか油滴飛散防止を兼ねたファンガイドを有し、また、単一ブレードのシャッタは引ひもの操作により簡単に望みの角度に調節できるなどの特長がある。

(2) 25 cm, 30 cm 自動シャッタ式換気扇

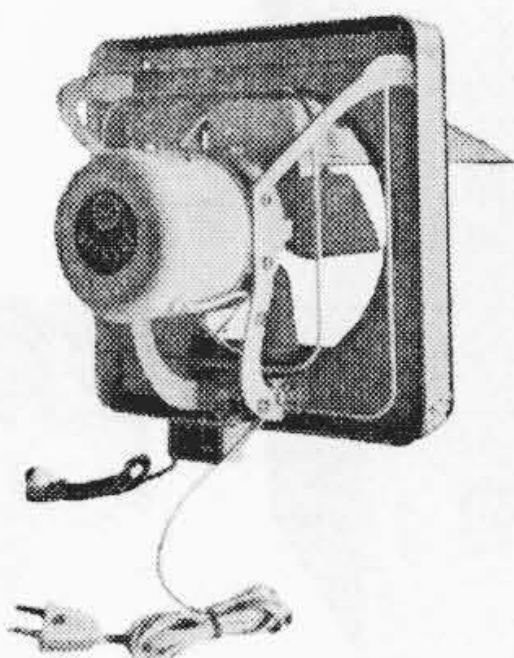
35年度発表以来好評の連動式換気扇シリーズに合わせて、防振



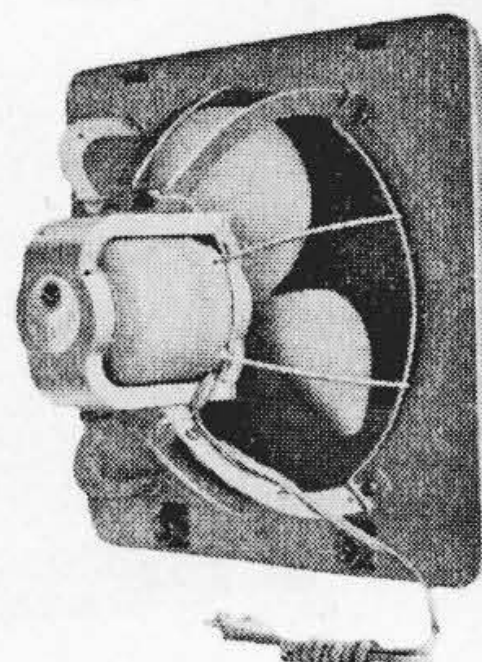
第5図 25 cm オートリープ



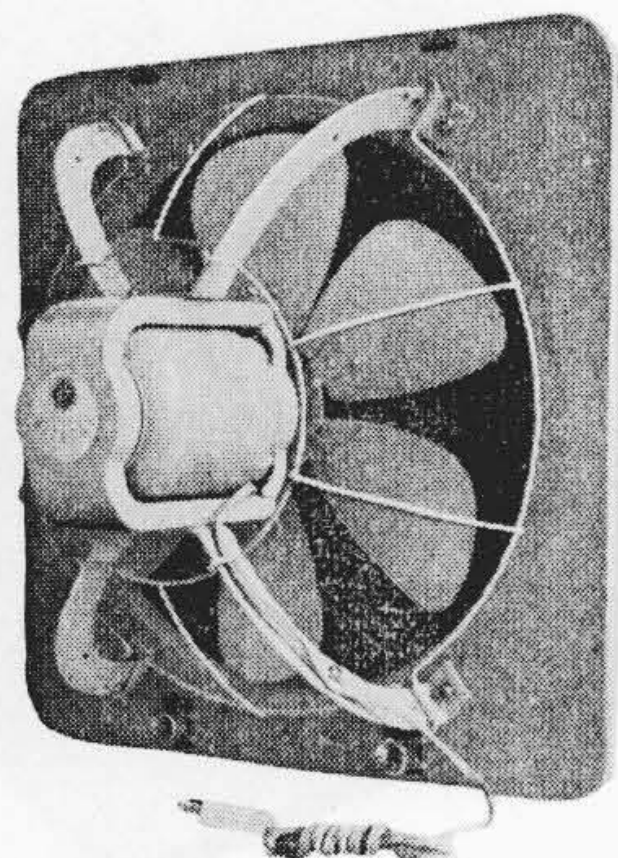
第6図 30 cm オートプライム



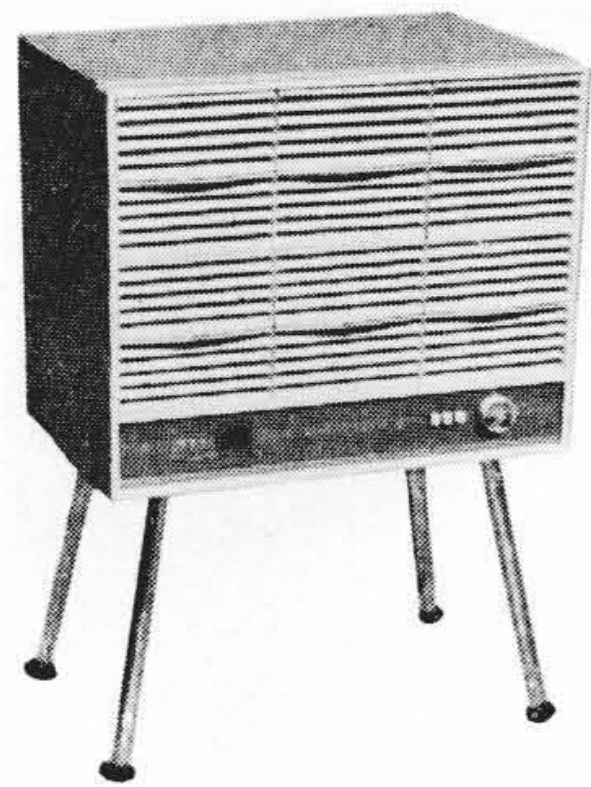
第7図 15 cm 手動シャッタ式換気扇



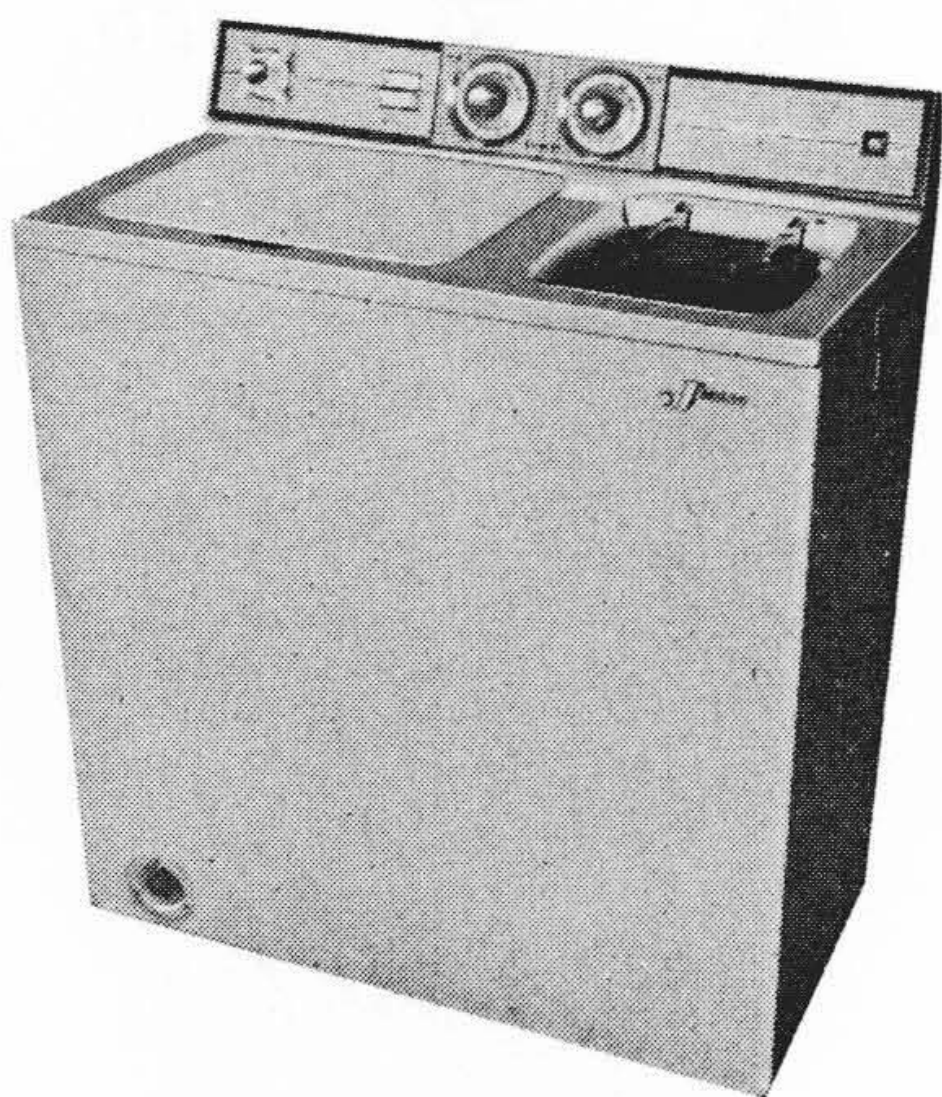
第8図 25 cm 自動シャッタ式換気扇



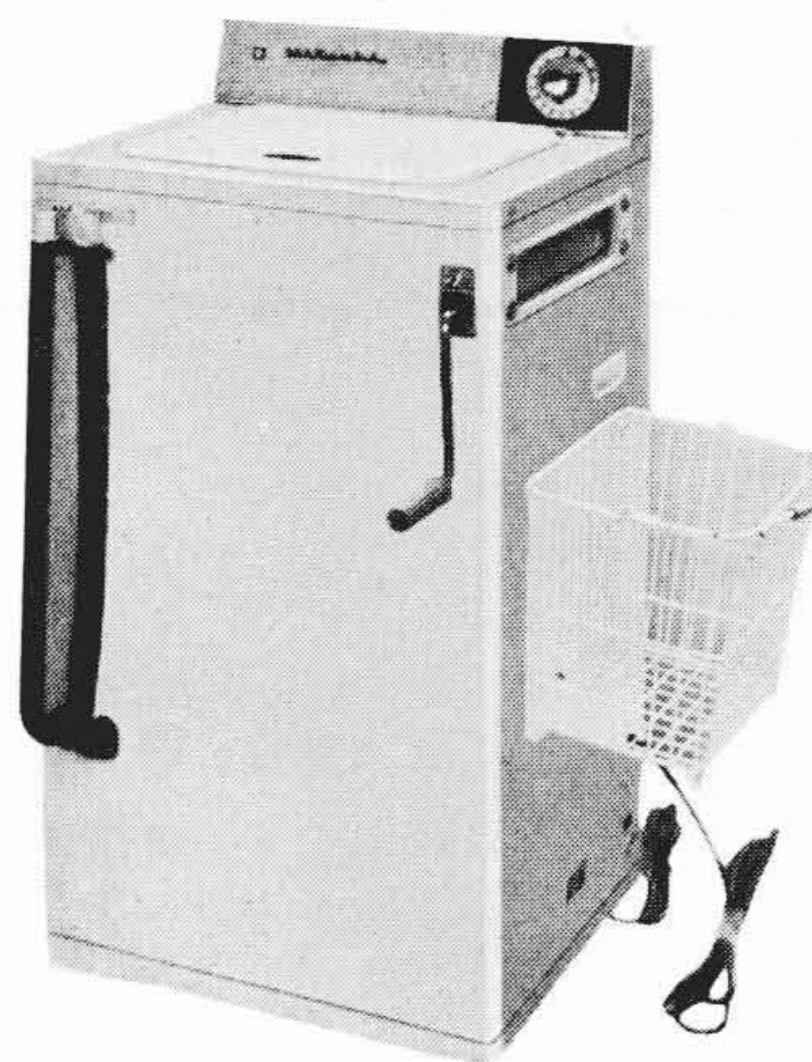
第9図 30 cm 自動シャッタ式換気扇



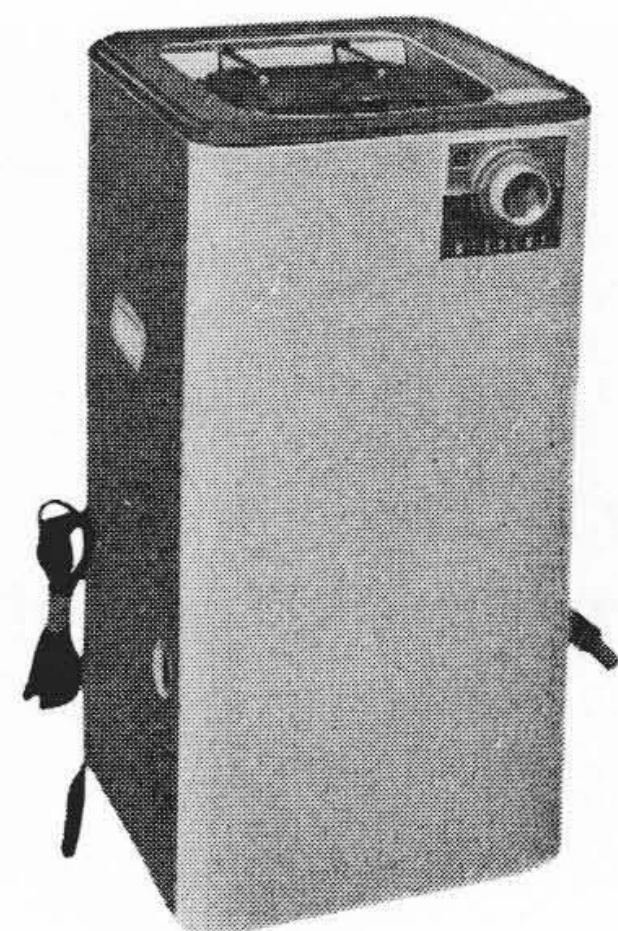
第 10 図 FP-C₁₁ 形ファミ
リクーラー



第 11 図 SC-JT₁ 形吸排水
ポンプ付脱水洗濯機



第 12 図 SH-JT₆₀ 形ジェット
アクション式洗濯機



第 13 図 SC-T₁ 形遠心
脱水機

構造による騒音の減少、ファンガイドによる風量風圧特性の向上、掃除に便利なシャッタと本体との着脱自在構造の採用により自動式の新シリーズを完成した。

7.1.3 ファミリークーラー

ファミリークーラーは、井戸水を冷媒とする冷却器に、ファンで室内の空気を通過させて冷風とし、室温を降下させる冷房装置である。安価で、据付、取扱いが簡単で、しかも強力な冷房能力を有するので、近年とみに需要が増大している。日立ファミリークーラーは、この線にそって製品化されたもので、本体に水量調節用バルブ、水量計を付けて実用上の便宜を計った点は、機能的なデザインと相まって日立独特の特長となっている。また騒音はきわめて少なく、風量も心よい清涼感をもたらすよう適正值にとってあるので、家庭用として好適である。

7.1.4 電気洗濯機

36年度はジェット洗濯機と遠心脱水機を組み合わせた新機種、またジェット式の普及形を製品化し、さらに全自動洗濯機を発表するなどいっそうの向上をみた。

(1) SC-JT₁ 形吸排水ポンプ付脱水洗濯機

ジェット洗濯機と二重防振支持の脱水機とを一つのわく内に納め、自動吸排水装置を内蔵した日立独特のもので洗濯準備から脱水まできわめて能率的にできる。また脱水機に圧力スイッチを用いるなど取扱いの便宜と安全性をもちこんだ設計になっている。

(2) SH-JT₆₀ 形ジェット洗濯機

さきに発表した SH-JT₅₀ 形からクラッチ、排水バルブを取去り、主要特長を十分に生かした普及形である。またベースの外装、

モートル支持部などの改良をしてある。

(3) SC-T₁ 形遠心脱水機

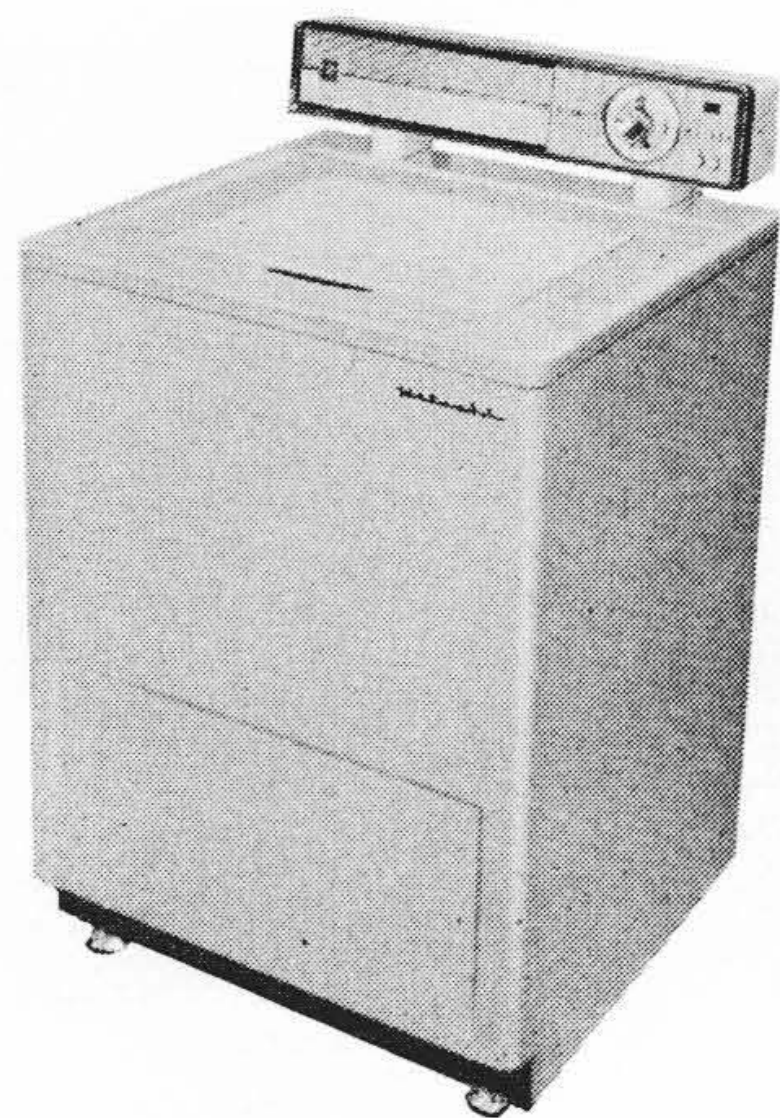
本機は SC-1 形と同様日立独特の二重防振支持方式の遠心脱水機であるが、新たにタイムスイッチを取付け、ドアスイッチを改良したものである。

(3) SC-AT₁ 形全自動洗濯機

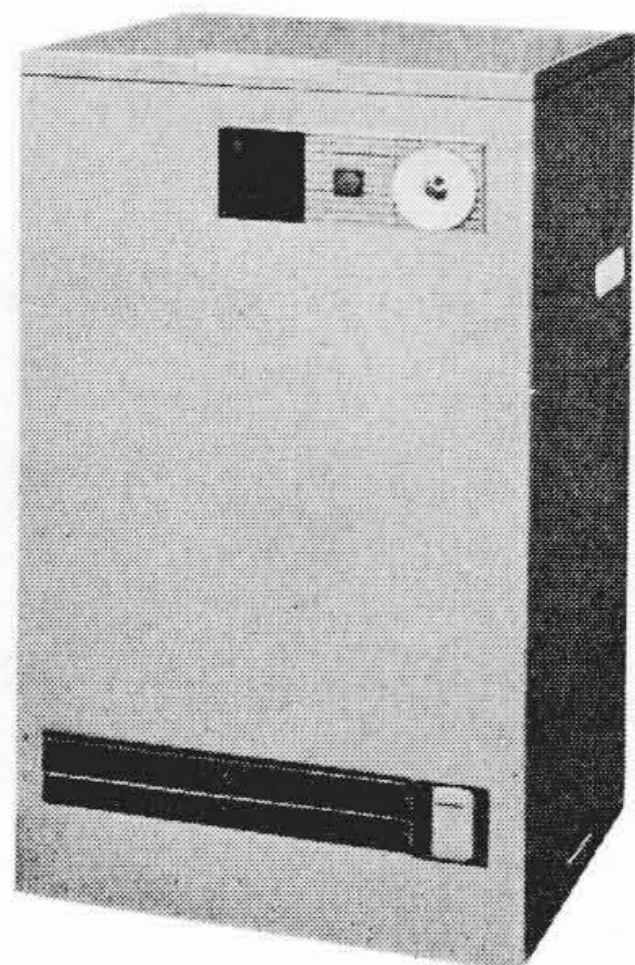
本機はわが国で最初的全自動洗濯機で、スイッチを入れるだけで給湯給水から、洗い、すすぎ、絞りまですべての動作を連続して自動的に行なう高級洗濯機である。特にわが国の電力、水道および生活環境に留意し、使いやすいように設計されており、その諸性能には外国製品よりすぐれた点が多い。おもな特長は、むらなく洗える攪拌(かくはん)式洗濯方式と絞り度のよい遠心絞りとを合わせ採用し、また絞り時の振動、騒音が適切な防振装置によりきわめて小さいこと、モートル容量は一般洗濯機とほぼ同等にもかかわらず洗濯容量が多いこと、水量制御方式を採用しているので水道の水圧が変動しても差しつかえないことなどである。

7.1.5 衣類乾燥機

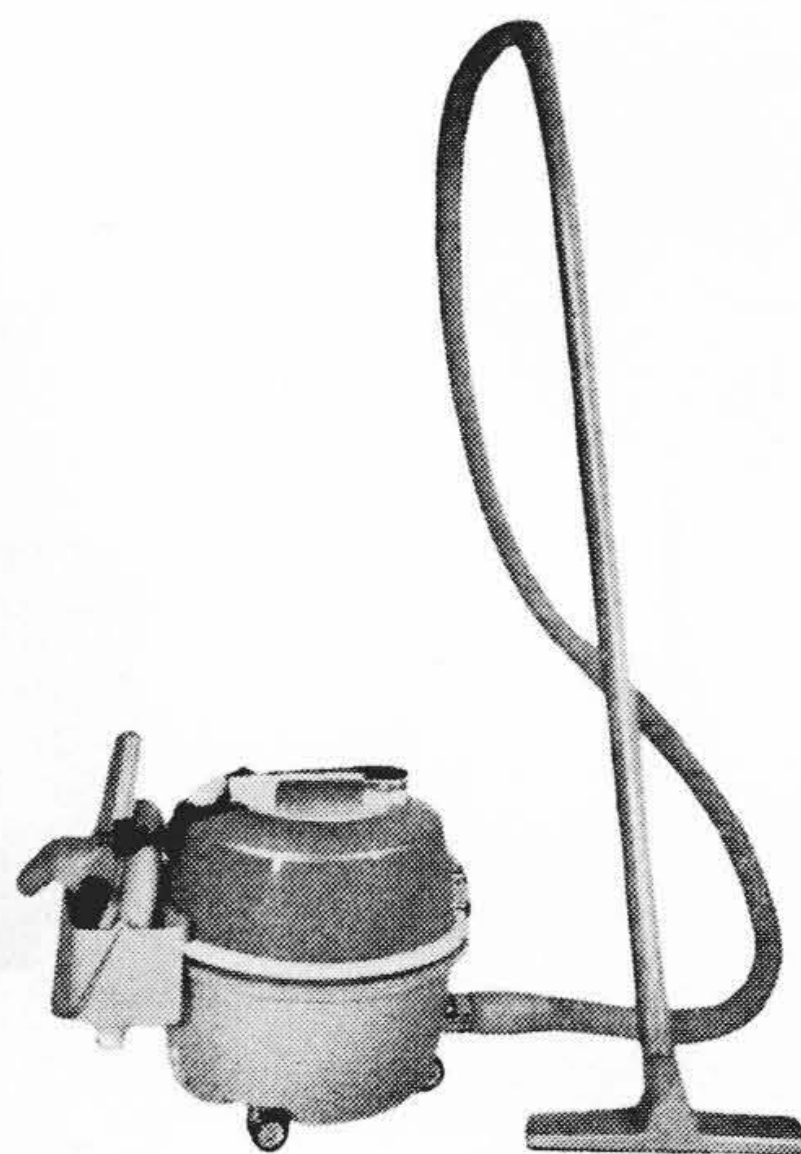
最近の都市生活においては空地の減少、煤煙の増加、ことに日本特有の梅雨期などにより、洗濯物を屋内で乾かしたいという要求が強くなっている。H-E₁ 形電気乾燥機はこの要望により製品化されたもので、ファンとヒータを利用して、ハンガーにつり下げた洗濯物を熱風乾燥する方式をとっている。本機の通風方式は独特のもので、これにより機内に発生する攪拌気流は乾燥時間を短くし、さらに洗濯物の乾燥むらを少なくする特長をもっている。



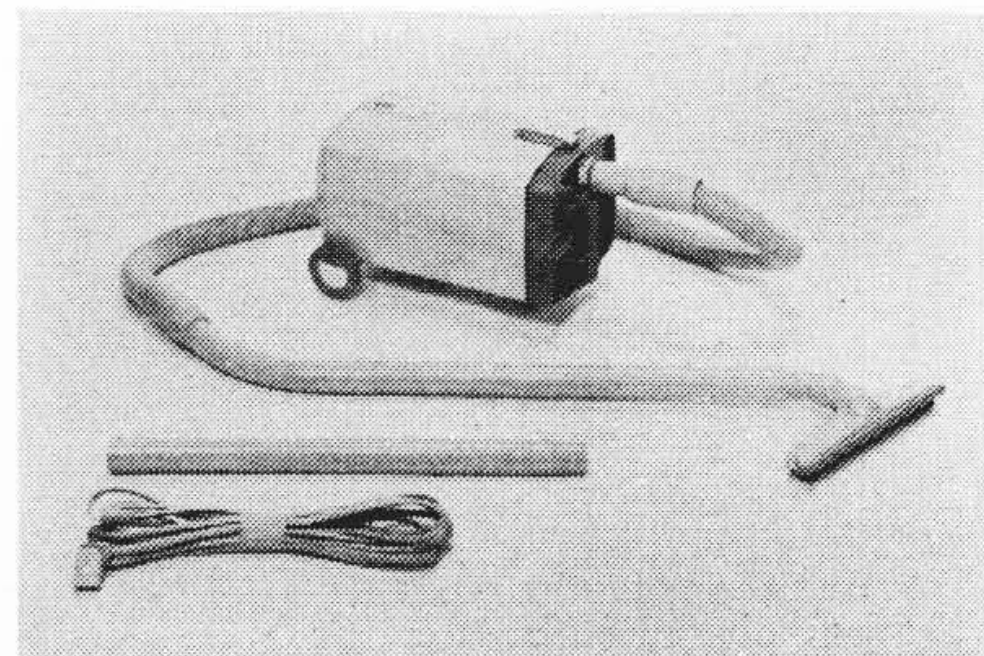
第 14 図 SC-AT₁ 形
全自動洗濯機



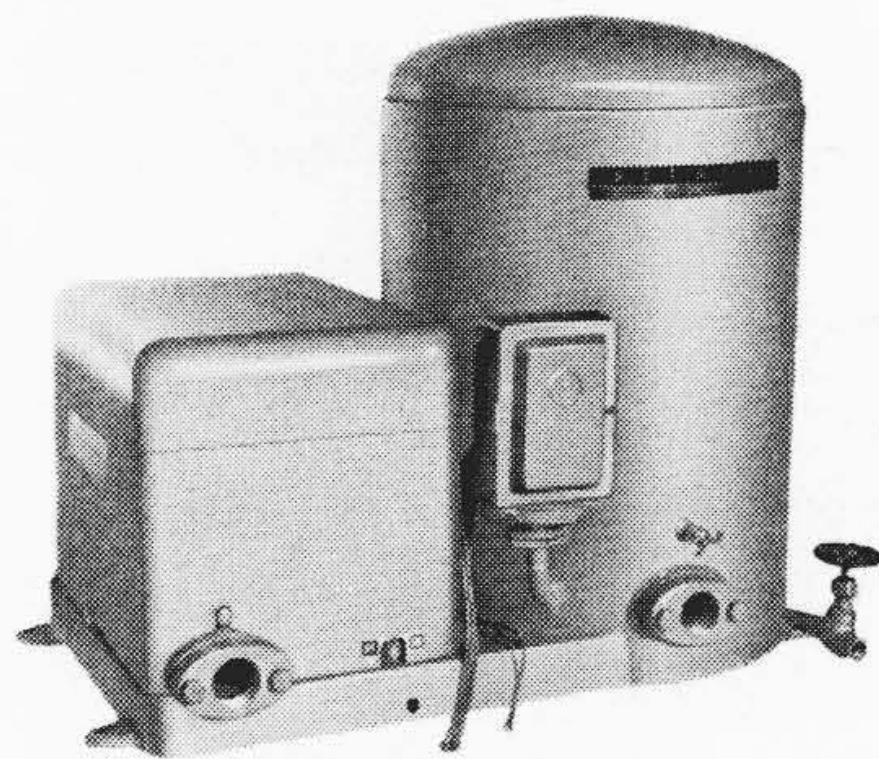
第 15 図 H-E₁ 形
電気乾燥機



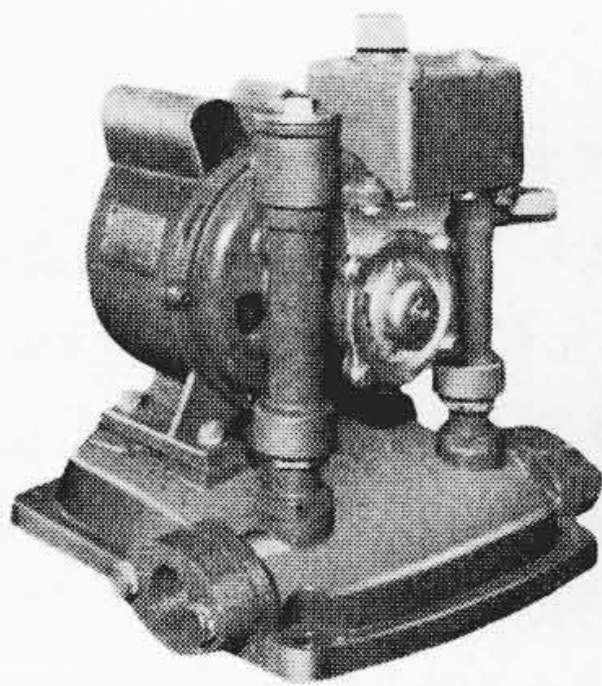
第 16 図 C-V6C 形 400W
ヒーターパック



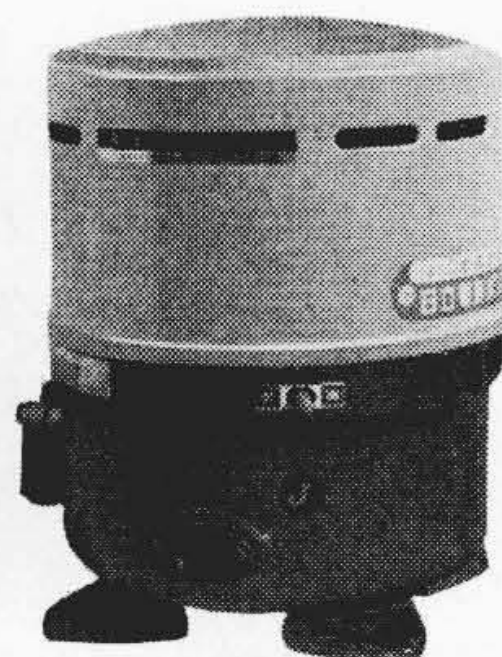
第 17 図 T-H2 形 300W
ヒーターパック



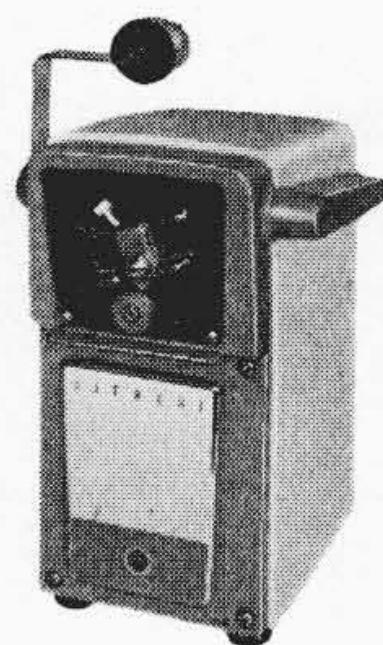
第18図 WT形 400W
自吸式ポンプ



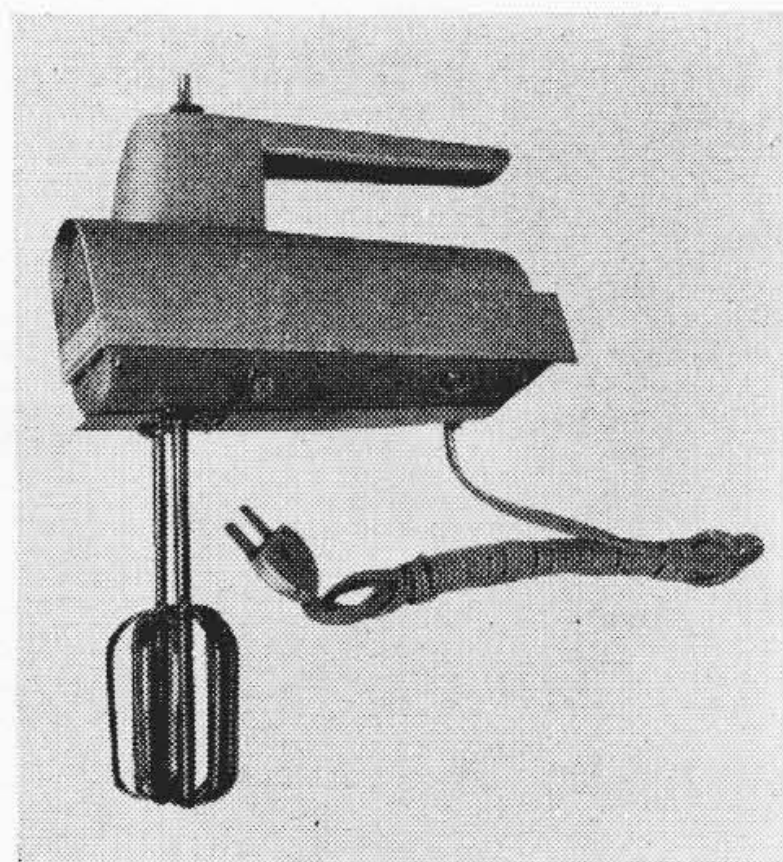
第19図 W形 200W
自吸式ポンプ



第20図 JT形 150W
ジェットポンプ



第21図 SCG-20形
カンオープナー



第22図 MHF-1形
ハンドミキサー

7.1.6 電気掃除機

36年度は電気掃除機の需要の激増に呼応して、従来好評のポット形シリーズに自動コード巻取装置付の新機種C-V6C形を加え、さらに新たにボックスタイプのT-H2形を完成して新方式掃除機の開拓を計った。

(1) C-V6C形 400W ヒッターバック

吸込力が強く集じん容量の大きいC-V6形に自動コード巻取装置を装着したもので、家庭用最高級品である。コードはレバー操作により簡単に本体中に巻き込まれるから掃除後のコードの始末が簡便化される。このコードは特殊仕様のクロロブレンキャブタイヤコードで、繰返し巻取に対する十分な寿命と、取扱性を考慮した柔軟性を有している。

(2) T-H2形 300W ヒッターバック

ポット形の特長とシリンダ形の長所を組み合わせたボックスタイプのデザインで、一般のシリンダ形より太く短い角形である。使用時は安定性のよい横形として使用するが、後車輪を支点にして簡単に立てることもできるスタンダップ式袋の操作、本体の収納に便利なポット形としての機能を果すもので、操作性の面で大きく飛躍した製品である。じんあいの処理については、ナイロン製の二重集じん袋式を採用し、また従来のシリンダ形の欠点であった集じん袋の操作に伴う手のよごれ、じんあいのこぼれに対して改良を行なった。

付属品ではナイロンネット入りビニルホースを採用してホースの寿命を著しく延長した。

7.1.7 ポンプ

需要の増加にこたえて、36年度は次のような製品が完成し、質、量ともにいっそうの充実をみた。

(1) 浅井戸用自吸式2極ポンプシリーズの完成

35年度に引き続き、WT形 400W、W形 200W およびW形 400W ポンプの製品化をみて、ここに文字どおり完全に浅井戸ポンプの自吸式2極シリーズが完成された。

WT形 400W は、従来の9AP形自動式ポンプに代るべきもので、またW形 200W は、2AP形非自動式の、W形 400W はA形 400W 非自動式ポンプの改良である。

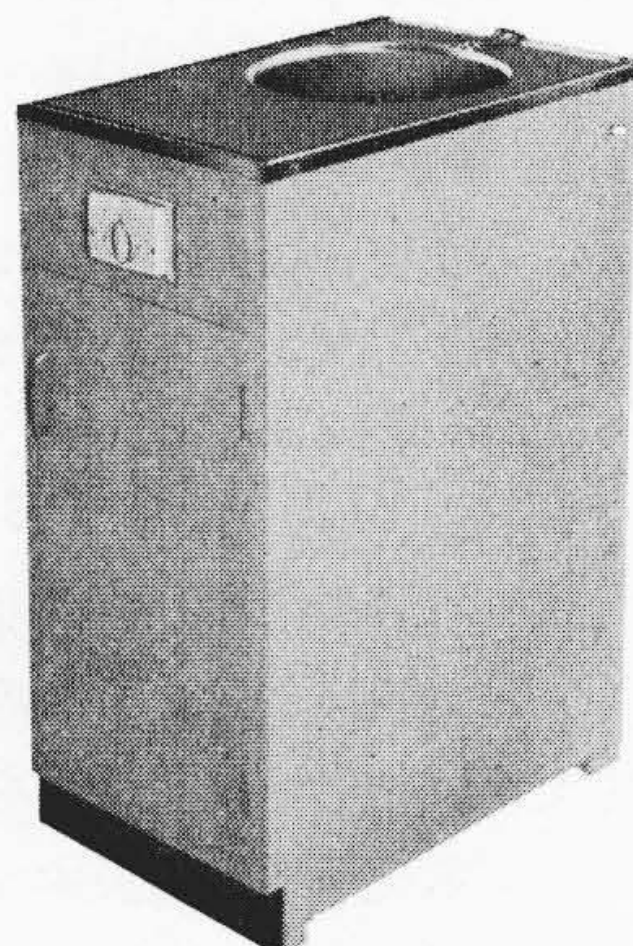
これらの改良されたおもな点は、自吸式になったため、ポンプの取扱いが容易になったこと、軸封装置にメカニカルシールを採用するとともに、キャビテーション防止対策を施し、揚水特性が約1割向上したことなどである。なおいずれのポンプにも、単相用と三相用が生産されている。

(2) JT形 150W および 250W ジェットポンプの改良

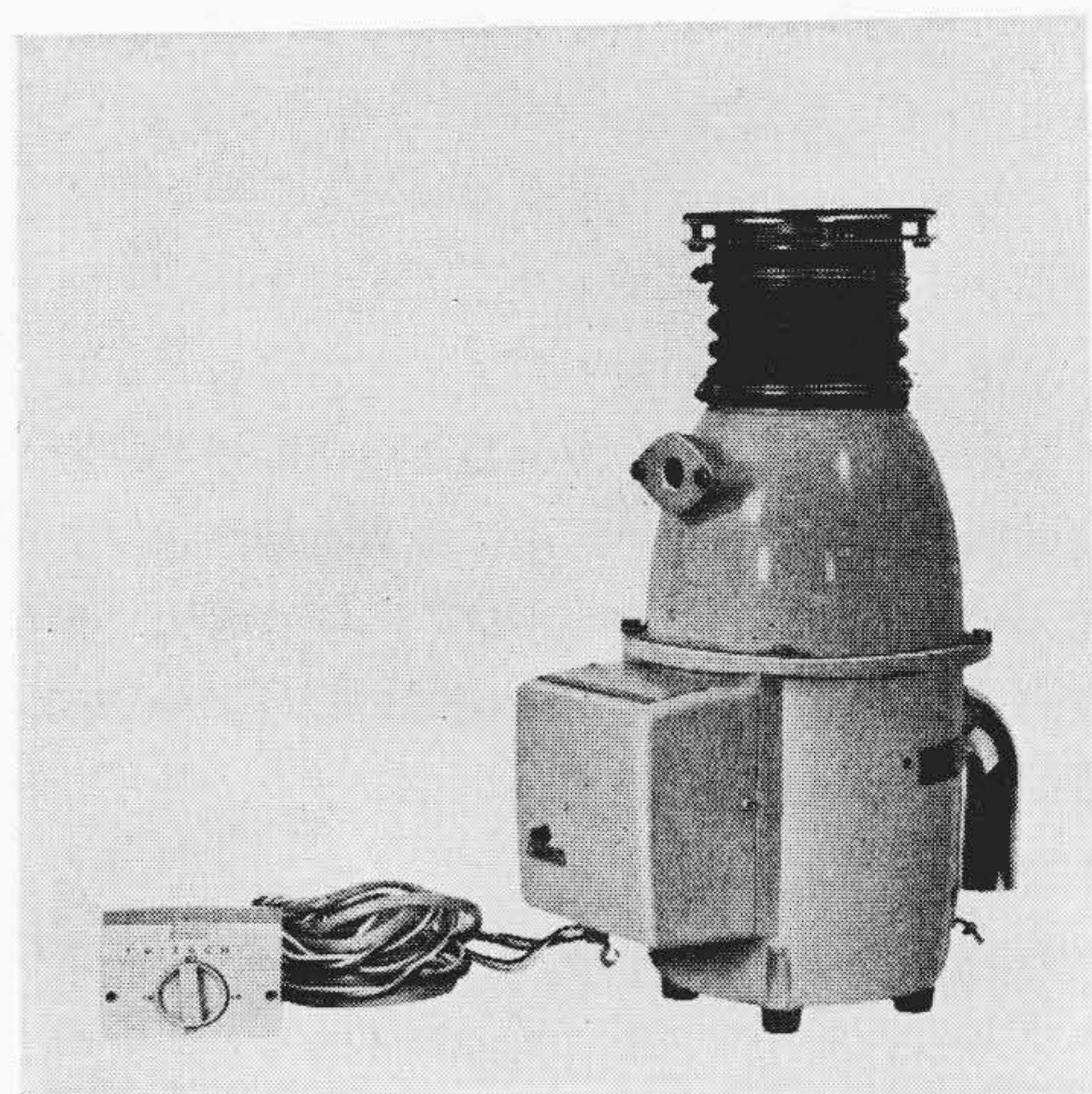
製品の機能的改良とともに、生産性向上を目的として完成されたもので、ポンプの主流品WT形自吸式ポンプと同一思想の構造である。したがって圧力タンクの強度や作業性が著しく向上さ



第23図 MJ-4形
ジュースミキサー



第24図 N-2形専用
流し台



第25図 MGK-10A形ディスペンサー

れたばかりか、各部品の組立てや、保守点検、分解修理、配管工事などが非常に容易となった。

7.1.8 ちゅう房器具

一般家庭電気品の充実につれ、家庭用ちゅう房電気器具の合理化に関心が払われ、その需要は急増しつつある。

(1) SCG-20形カンオープナー

かん詰の開かんを自動的に行なうもので、一般のかん切りでは開かん困難な角かん、だ円かんも容易に開かんできる。最初の切込みも自動的にモーターの力で行なわれるため力が不要で、また切口がなめらかなためけがをすることがなく、かつ切り取られたふたはマグネットで吸着される。据置または壁掛として使用することができる。

(2) MHF-1形ハンドミキサー

モーターにより2本の攪拌棒が回転される構造で、この攪拌棒

を材料に入れて攪拌を行なう。本機の使用により料理の際に手数を要した泡たて、まぜ合せ、ねり合せなどを容易に行なうことができる。完全なポータブルでハンドルをにぎったまま用途に応じて高速、低速および停止のスイッチ操作ができる。またヒールレスト形のため使用途中でも攪拌棒を付けたまま調理台の上に置くことができ、また攪拌棒はリリースにより容易にはずすことができる。

(3) MJI-4 形ジュースミキサー

独特のスキュードカップと、鋭利なカッターによるすぐれた性能はすでに定評があるが、さらにモートル、シール部などの性能が向上された。

(4) ディスポーザ用 N-2 形専用流し台

流しがコンクリート製のため、またはそのほかの理由で既設の流しにディスポーザが取付不能の場合に使用されるもので、MGK-10 形ディスポーザと専用スイッチをきわめて簡単に取付けることができる。流し板はステンレス、側板は耐水ベニア化粧板が使用されており、台所にマッチしたデザインである。

7.2 冷蔵庫およびルームクーラー

電気冷蔵庫は家庭電気必需品としての認識が高まって需要は年々急増し、36年度における電気冷蔵庫の国内生産台数は約 120 万台にも達したが、その反面販売戦も激化の一途をたどっている。しかしながらその販売戦の激しい中で、日立電気冷蔵庫が業界第一位の地位を確保し続けているのは、たゆまざる日立総合技術の研究成果が数々の特長として採り入れられていることが世に認識されているためである。

35年度には全機種にキュービック形を採用し業界の注目を集めたが、36年度の日立電気冷蔵庫のデザインはさらに洗練され、メタリックのツートンカラーで台所に楽しさをもたし出すことを図った。フラッシュヒンジ、ワンタッチドア、セルフターンバスケット、ドアポケット、棚など機能上の数々のアイデアはもとより、冷却性能のすぐれているアルミシートの蒸発器ならびに昨年以来国産最初の 2 極高速高効率の電動圧縮機の採用による冷却性能の優秀性を、さらに製氷能力の向上のため、世界ではじめての着想であるアイスノッチ付温度調節器、3 方式にわたる自動除霜方式の実現など性能上、機能上の優位は他社の追随を許さないところで、著しい好評を博すことができた。

またルームクーラーは 35 年度の 4 機種に引き続き、本格的なファクトリーセットによるヒートポンプならびにヒータ付ルームクーラーを 2 機種加えて 6 機種とした。下吸込み上吐出しの thin and low type のデザインは 35 年度から好評を得ており、スライドアウトのユニット構造も据付サービスの容易なことが販売店に歓迎されている。

性能上においては電動圧縮機の改良、蒸発器、凝縮器の熱交換器性能の向上ならびに送風機の改良により、冷房、暖房

能力は一段と向上し、かつ盛夏においても十分な性能を発揮できるように設計されており、風量変換装置、換気装置、温度調節器リモートコントロールスイッチなどの便利な機能とともに静粛な運転についても自信のある製品を出すことができた。

7.2.1 '61 年形電気冷蔵庫の特長

'61 年形電気冷蔵庫は前年度好評を博したキュービックタイプの外観を踏襲して、機能的な美しさを強調する新感覚の意匠を採用し、需要者の嗜好に適合したものとするとともに、取扱上の機能および性能の向上を計り、機種の数も従来 10 機種であったものを小形 60 l から大形 300 l ものに至る 12 機種とし、普及形、豪華形を含めた多彩な機種を取りそろえてあらゆる需要層にこたえるものとした。

'61 年形日立電気冷蔵庫の特長を列記すると次のとおりである。

外観意匠では

(a) 色感豊かなメタリック・ゴールド、メタリック・シルバーの 2 色を取りそろえてドアに配し、それぞれの色変り機種を備え 12 機種でも 16 銘柄として嗜好の適合を図った。

性能向上に関しては

(b) 2 極電動機を使用した静粛な運転音の小形圧縮機を開発して、60 l、95 l の小形機種に採用。

(c) 除霜装置用サーモスタットを開発して、従来のダイヤル・デフロスト方式に加えてホットガスデフロスト方式、ヒータデフロスト方式とともに自動除霜装置 3 方式をそれぞれそろえて除霜の便宜を図り、

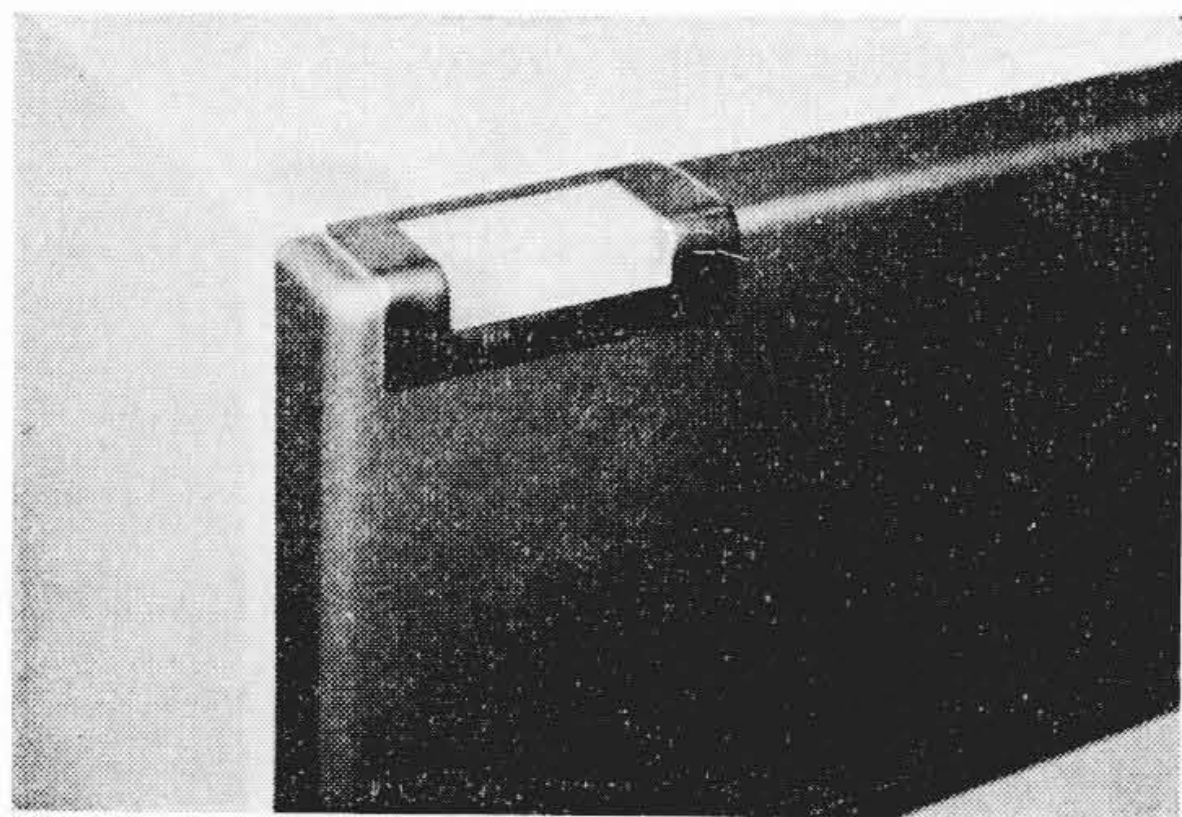
(d) 温度調節器の機構を改良して冷凍装置を連続に運転できるアイスノッチを設け、気温の高低にかかわらず氷の製造がすみやかにできるようにした。

取扱上の機能においては

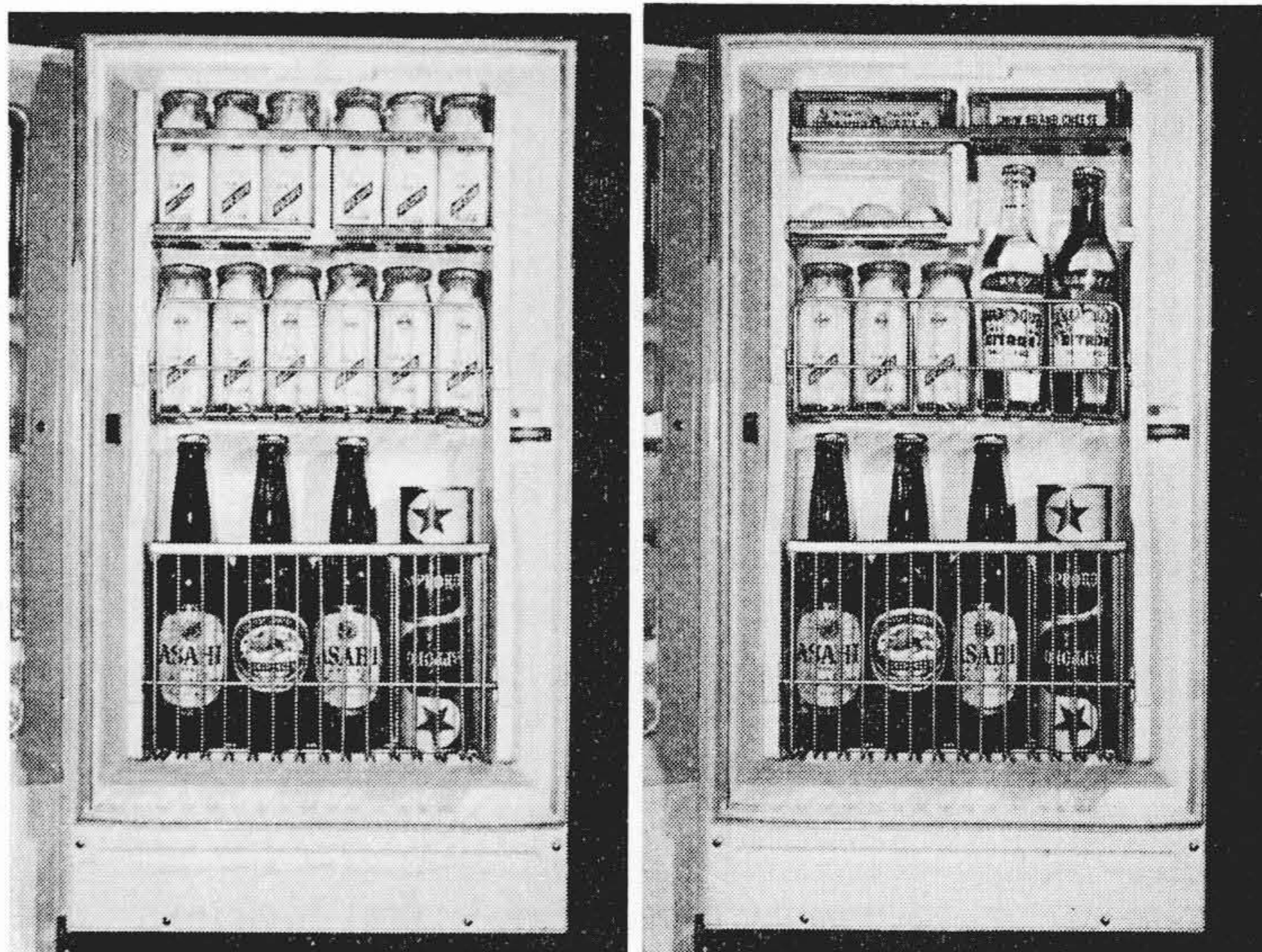
(e) 日立製作所独自の押ボタンドア開閉機構を改良したシグナルランプ付押ボタンを設けて通電状態では常に点灯し、ドアをあけると消灯してドア閉止の確認が行なえ、しかも夜間は室内が消灯していても冷蔵庫を明るく照し出しているのので、取り扱いが至便である(第 26 図)。

押ボタンドア開閉機構はドアをしめる力の一部をドア内部のねじりバネに蓄積し、ドアをあけるとその力を利用して押ボタンで掛金をはずすことにより、軽くドアが開く独特な新案機構で他社の追随を許さぬものである。

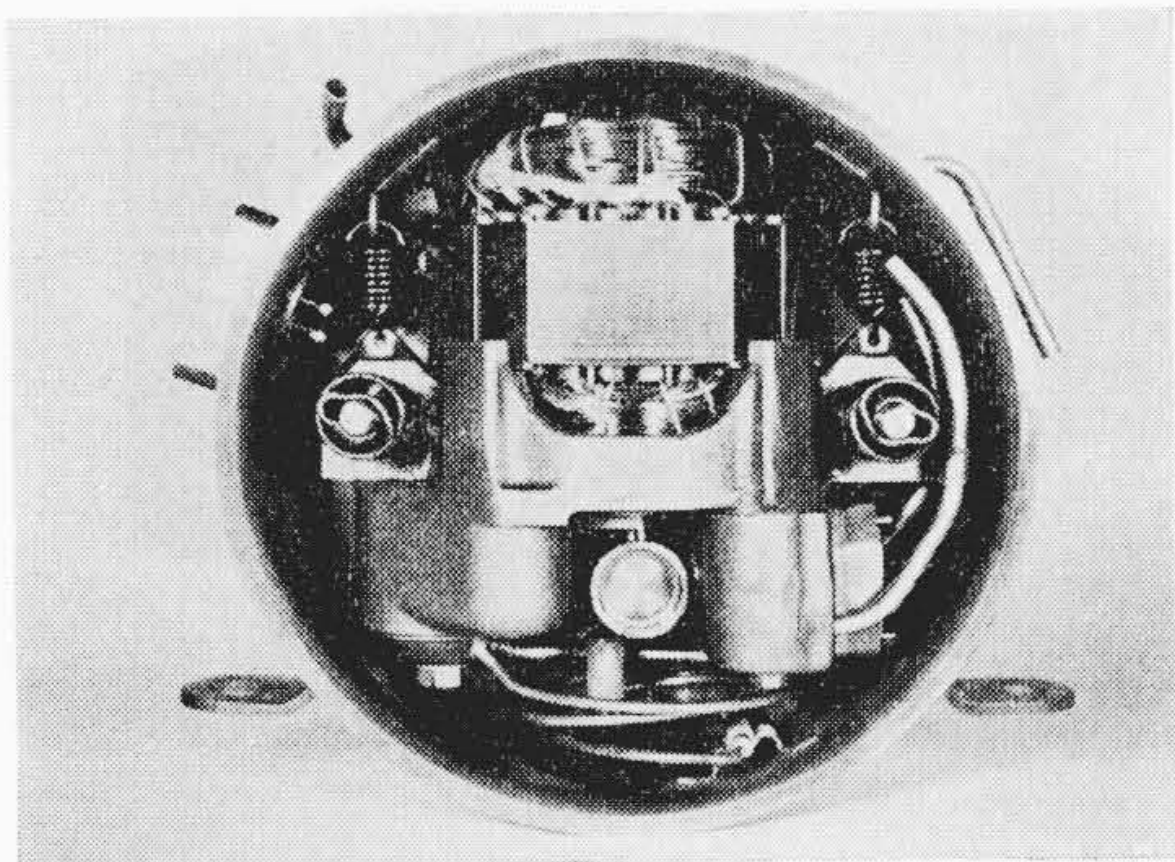
(f) ドアのポケットには多くの新規考案を採用して、食品を単に貯蔵するだけでなく取り扱いに楽しさをもたし出すようなくふ



第 26 図 シグナルランプ付ドア開閉用押ボタン



第 27 図 冷蔵庫ドアポケットの収容外観



第 28 図 MD-650 形 2 極電動機付小形圧縮機

うを施して、取りはずし可能な可変棚やバター入れ、卵棚など顧客の好みで10数通りの組み合わせができるようにして収容力の増大を図った(第 27 図)。

(g) 製氷室ドアには透明窓を設けて、コーナ形庫内灯に照らし出された製氷皿の氷のでき具合がドアを開かなくても一目で見えるようなくふうを施すとともに、ドア開閉機構をスナップアクション式にしてドアの開閉を容易にし、かつこのドアをしめ忘れても、冷蔵庫のドアをしめれば自然に閉止するような至便な構造とした。

(h) カバー、中皿付露受兼肉皿を考案して、従来底面に必要とした露付防止断熱材を廃止して有効内容積を増大するとともに、除霜水を排出する際に溢水することのない取り扱いやすい構造とした。

など斬新な特長を豊富に盛り込んだ。

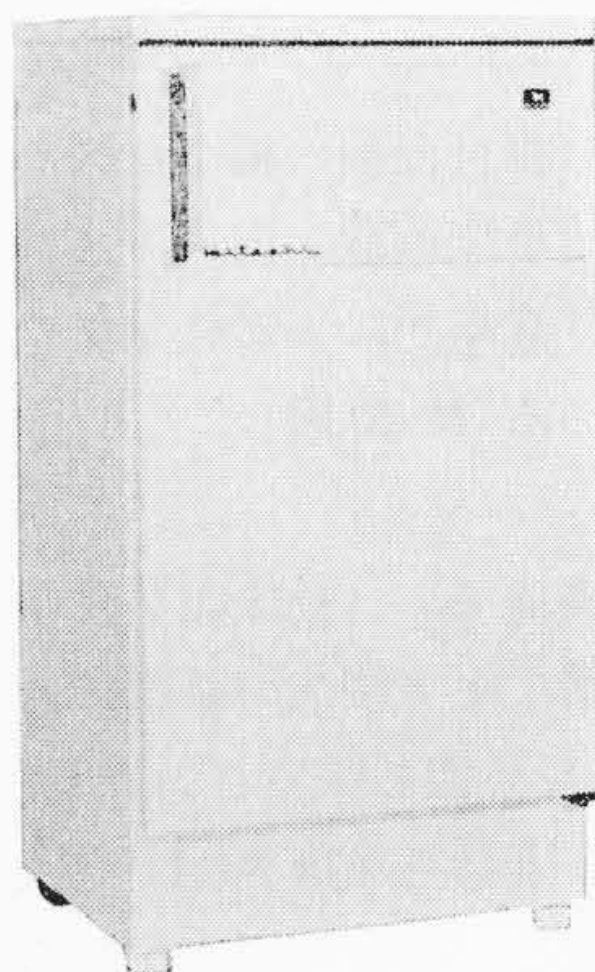
そして従来からも日立電気冷蔵庫の特長とされている

- (1) すぐれた冷却力を発揮するアルミシート・エバポレータ
- (2) 対流を阻害せず有効棚面積の広い引き出し式棚
- (3) 収容物をじゃましないコーナ形庫内灯
- (4) 据付面積が小さくしかも上面の有効利用が可能

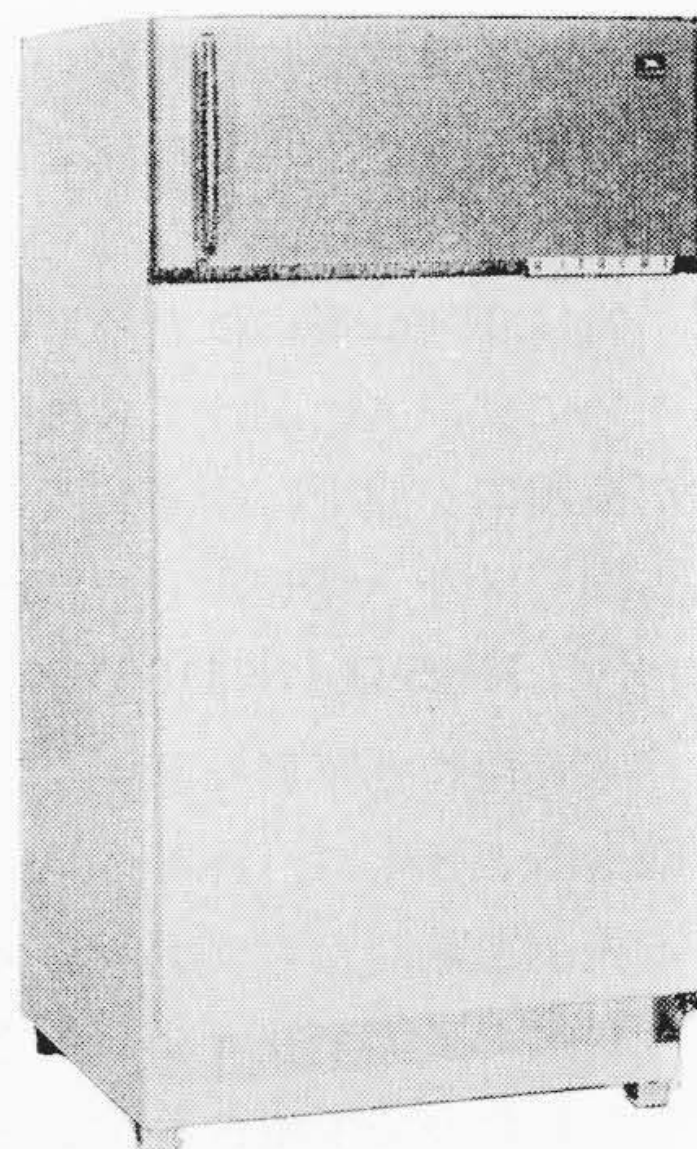
などの諸特長と合わせて、日立電気冷蔵庫の真価を遺憾なく発揮することができた。

なお従来の冷蔵庫用小形圧縮機は 4 極 80W 電動機を使用していたが、小形軽量化と性能向上を期し、量産性のある 2 極 65W 電動機付小形圧縮機を開発し、前年度 60 l 形に試用し好評を博したので 36 年度は 95 l 形にも採用した(第 28 図)。

家庭電器用電動機の 2 極化は一般のすう勢になりつつあるが、4



第 29 図 R-60 形
電気冷蔵庫外観



第 30 図 R-95 形
電気冷蔵庫外観

極に比し倍速となるために生ずるしゅう動部の潤滑と摩耗の問題、振動騒音の低減など多くの困難な問題がある。日立製作所においてはかねてより研究を重ね、これらの問題を解決してわが国最初の 2 極電動機付小形圧縮機を完成した。この圧縮機は冷蔵庫に使用して運転音が静粛でしかも冷却効率がすぐれており、日立の総合技術の成果を遺憾なく世に問うことができたものである。

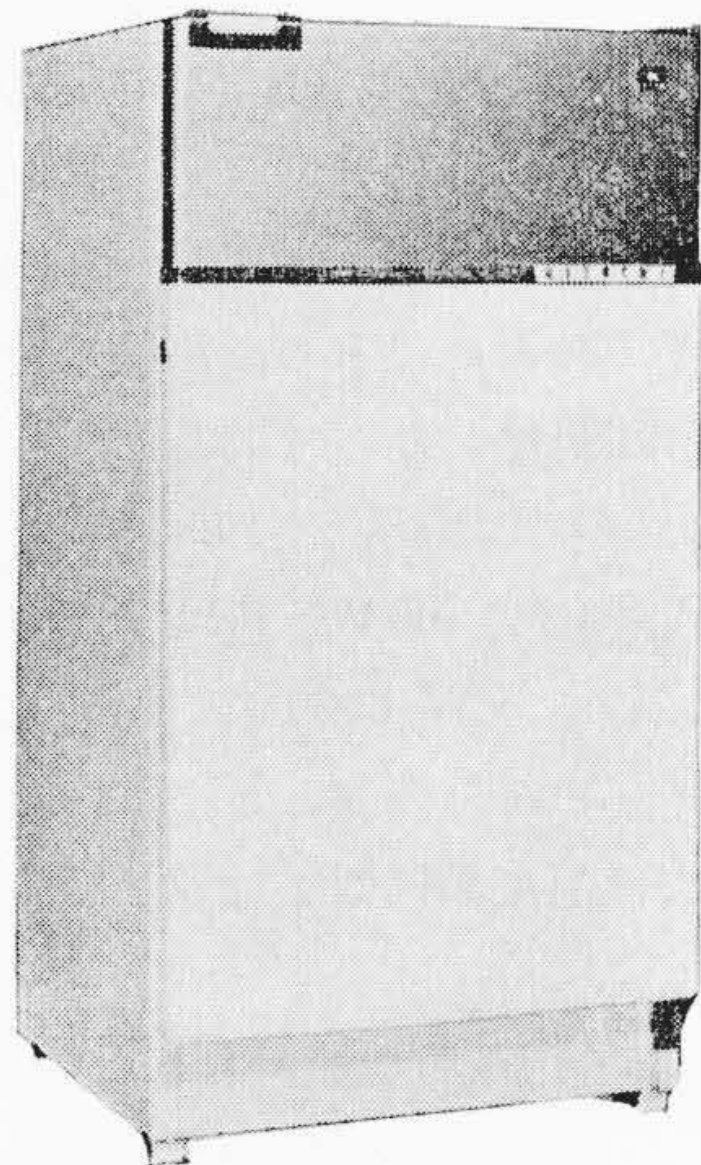
以上は日立電気冷蔵庫の総括的な特長であるが、次に各機種についてその特長を記す。

(1) R-60 形

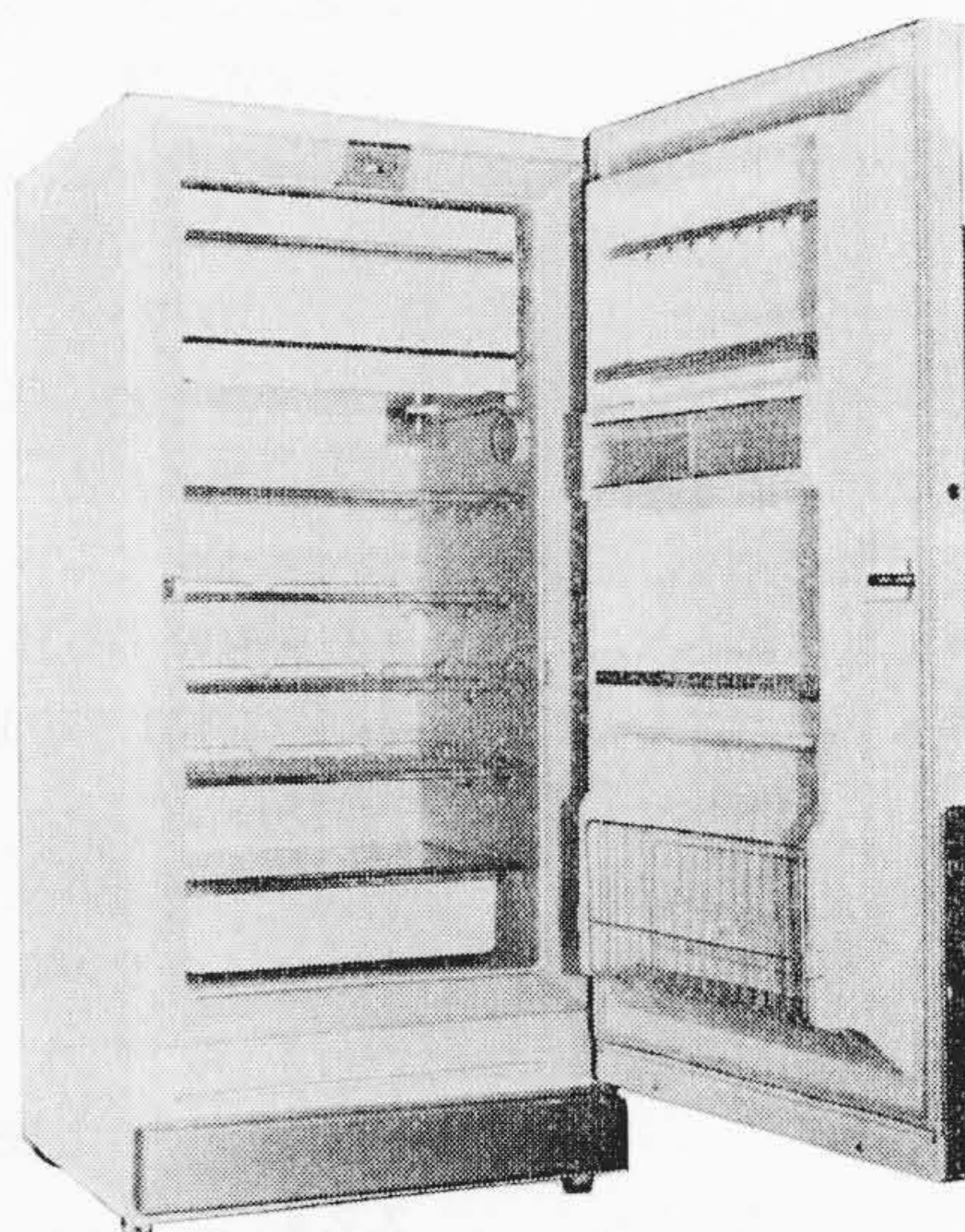
氷冷蔵庫に代る小人数向低価格の意欲的製品であって、プラスチック内箱を用いたトップテーブル形である。据付面積の極小を図るために冷凍装置には内蔵フィン形凝縮器を使用し、圧縮機には 2 極 65W 電動機を用いた小形圧縮機を取り付けて、小形ながらすべての点ですぐれた性能、機能を発揮して好評を博した。特にドア開閉機構を施錠可能にしたので、ホテル、旅館の個室用などの用途開拓に寄与するところ大であった(第 29 図)。

(2) R-95, R-95 B, R-110, R-110 B 形

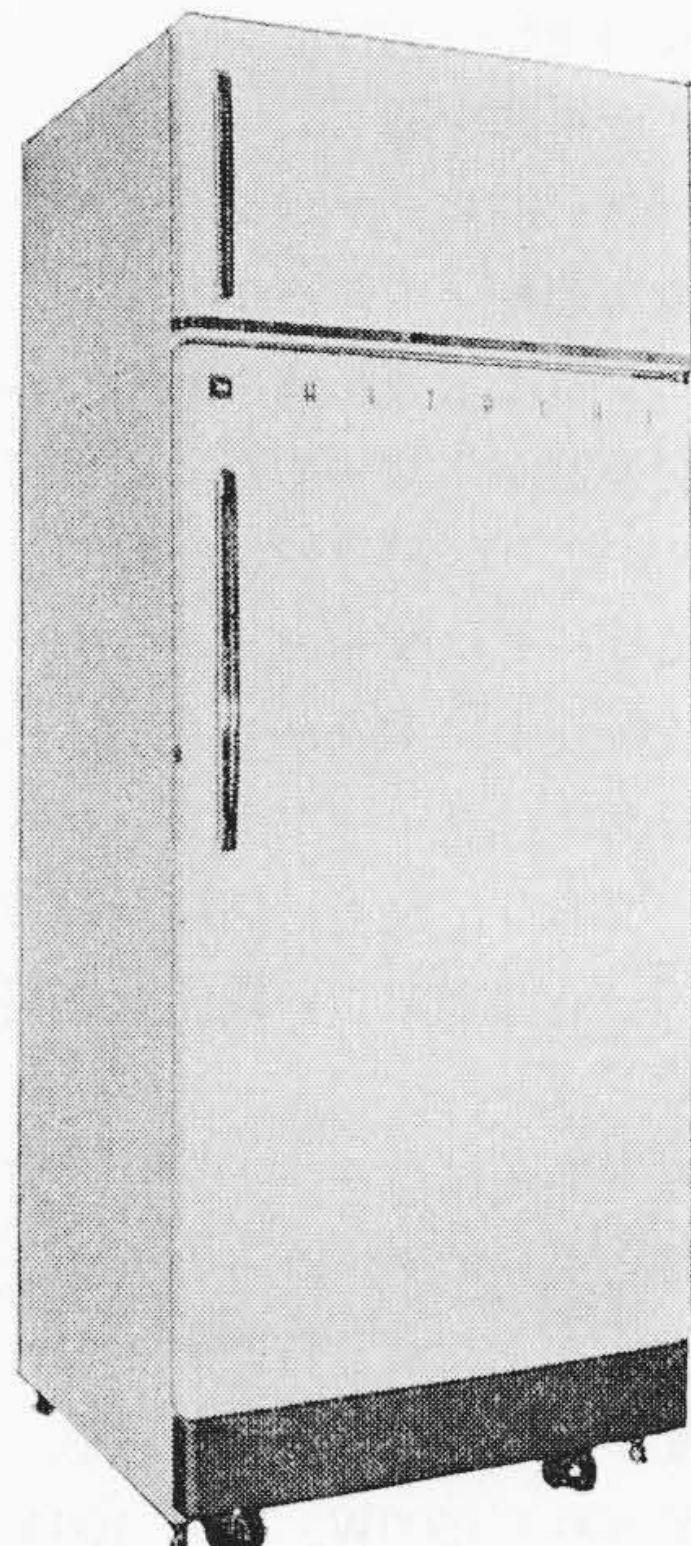
家庭用普及形の電気冷蔵庫で、庫内をすみずみまで有効に広く使えるような多くのくふうを施すとともに、それぞれメタリック・ゴールド、メタリック・シルバーの 2 種の銘柄をとりそろえて需



第 31 図 R-95D 形電気冷蔵庫外観



第 32 図 R-260D 形電気冷蔵庫内部



第 33 図 R-300D 形電気冷蔵庫外観

要の嗜好に応じた。Bのつく形式は日立製作所独自で開発して好評を博している世界に誇る押ボタン式ドア開閉機構を備えたものである。

特に R-95 形には普及形にふさわしく、据付面積の極小を図るために他にさきがけて 2 極 65W 電動機付小形圧縮機と内蔵フィン形凝縮器を備えた冷凍装置を取り付けて、意欲的に小形軽量化の方向づけを示唆し、その真価を発揮している(第 30 図)。

(3) R-95 D, R-110 D 形

家庭用の豪華形を目ざして設計された機種で、自動除霜装置を備えるとともに、押ボタン式ドア開閉機構にドア閉止の確認と通電表示を兼ねたシグナルランプを取り付け、外観の豪華さを計り、可変式ドアポケットなど多くの考案を取り入れて取扱機能の充実を期したので生産台数を上回る需要を喚起し、普及の増大を図ることができた(第 31 図)。

(4) R-160, R-200, R-260, R-260 D 形

豪壮な外観、内容を備えた高級電気冷蔵庫で多量の食品の貯蔵ができ、多人数家族用および営業用として好評を博した。

特に R-260 D 形は急速に霜を融解するホットガス式除霜装置を備えた新しい機種で、すぐれた性能を発揮した(第 32 図)。

(5) R-300 D 形

内容積 300 l を有する 2 ドア 2 温度式の超大型の高級電気冷蔵庫で、上部に常時 -15°C を保つ冷凍室を備え、下部に $0\sim 10^{\circ}\text{C}$ 調節可能の貯蔵室を設け、豊富な冷凍食品の貯蔵を可能にするとともに多量の一般食品の貯蔵ができる構造となっている。貯蔵室の冷却器には霜取りの顧慮をまったく必要としないフロストフリー式冷却器を備え、外国製品にまさる性能を発揮して新しい需要を喚起した(第 33 図)。

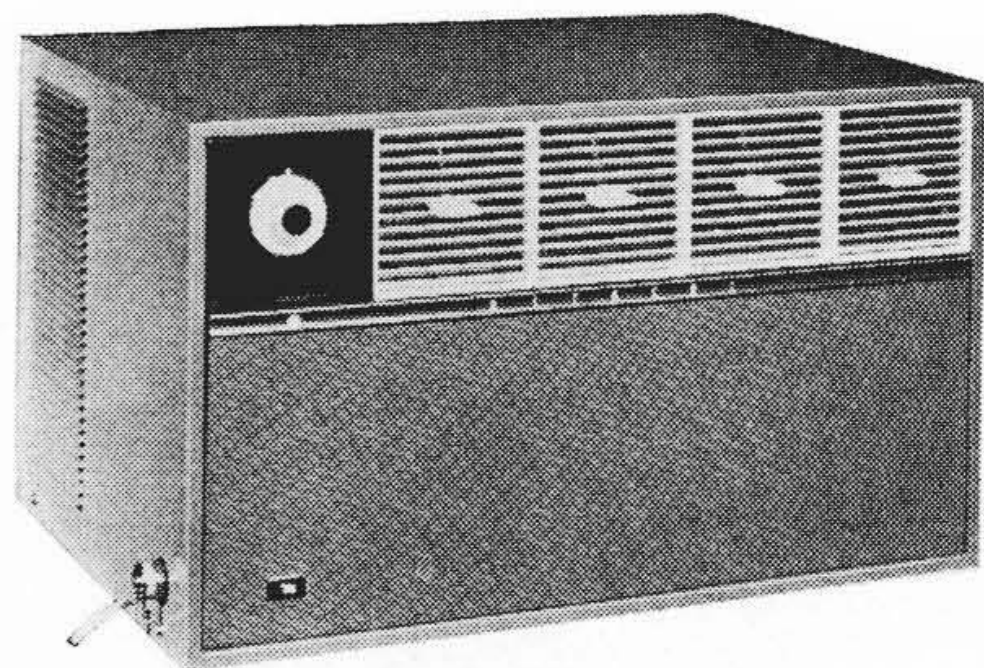
7.2.2 '61 年形ルームクーラーの特長

36 年度の日立ルームクーラーは和室にも洋室にもよく調和し落ち着いた配色で好評を博した 35 年度製品のデザインを踏襲し、性能の面では圧縮機の弁機構の改良および熱交換器の工作方法の改善によって冷房能力、除湿能力を一段とすぐれたものとした。

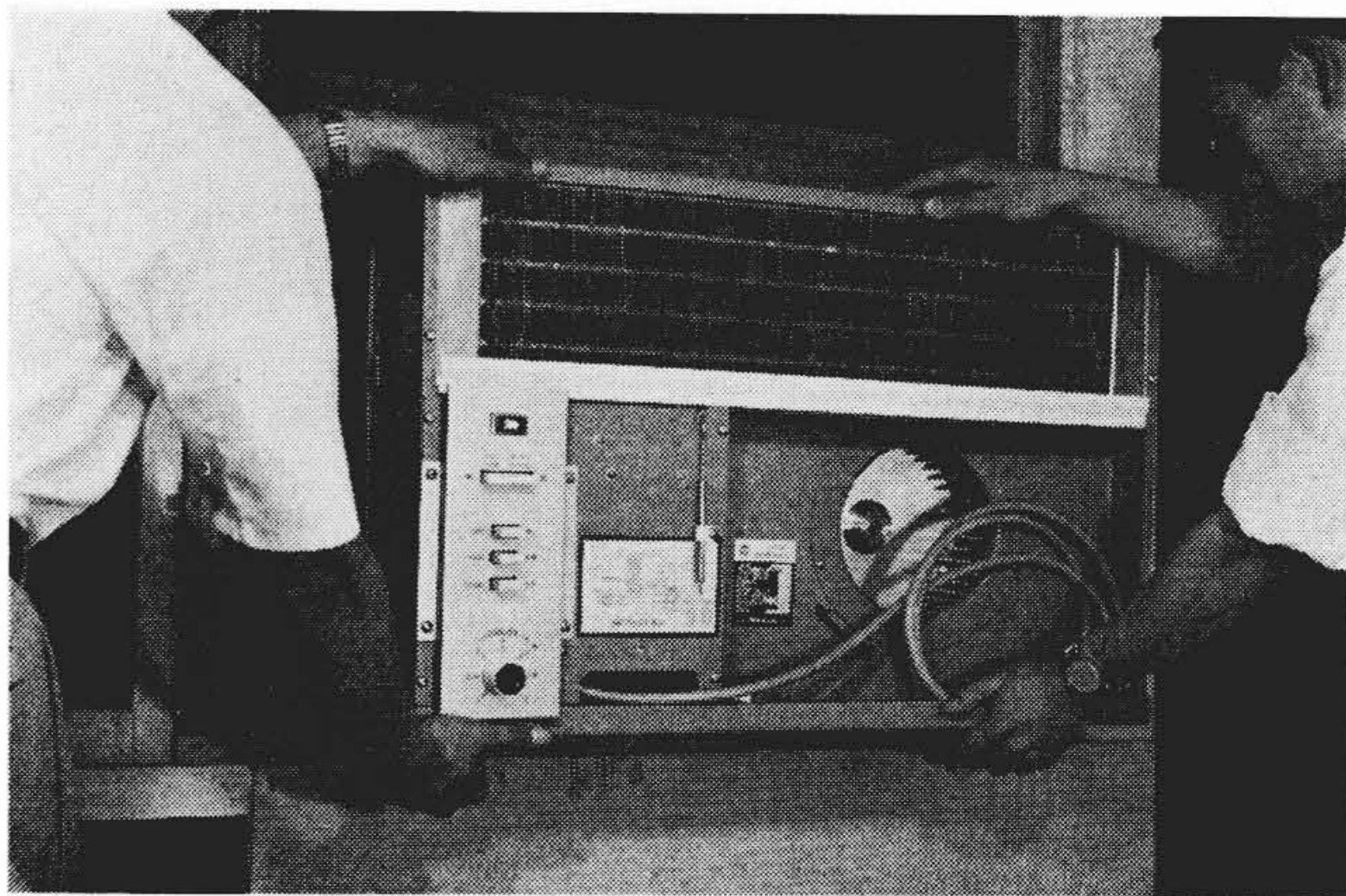
機能の面では、押ボタンスイッチにより送風、冷房、ならびに排気などの運転操作が容易にできるほか、室内を循環する風量の調節を行なう風量変換押ボタンスイッチを設けたので、夜間の運転に適したいっそう静粛な運転ができる。36 年度の新製品として加えられた暖房装置付ルームクーラーは、押ボタンスイッチの操作で簡単に冷房運転と暖房運転の切替えができるようになっているので、空気調和機として一年間を通じて使用することができる。この暖房装置付ルームクーラーはヒートポンプサイクルによる暖房運転と電気ヒータによる暖房運転ができるようになっている。一般にヒートポンプサイクルによる暖房運転は極寒期で外気の温度が 5°C 以下になると外気側熱交換器が氷結するために暖房能力がなくなるので、そのときはヒータにより暖房運転を行なうようにした完全なものである。なお電気ヒータはサーモスイッチ、およびヒューズによる 2 重安全装置付で保安上に十分な考慮が払われている。また単相電源を使用するクーラにはリモートコントロールスイッチが取り付けられるようになっており、寝室、病院などで寝ながら運転操作ができるようになっているなど新しい機能を充実し、あらゆる方面の需要を満足している。

キャビネット構造はスライドアウト方式(引出式)を採用しており、これは日立ルームクーラーの大きな特長で、取り付けおよびサービスが非常にやりやすく特にサービスの場合周囲の壁などに損傷を与える心配がない構造となっている。

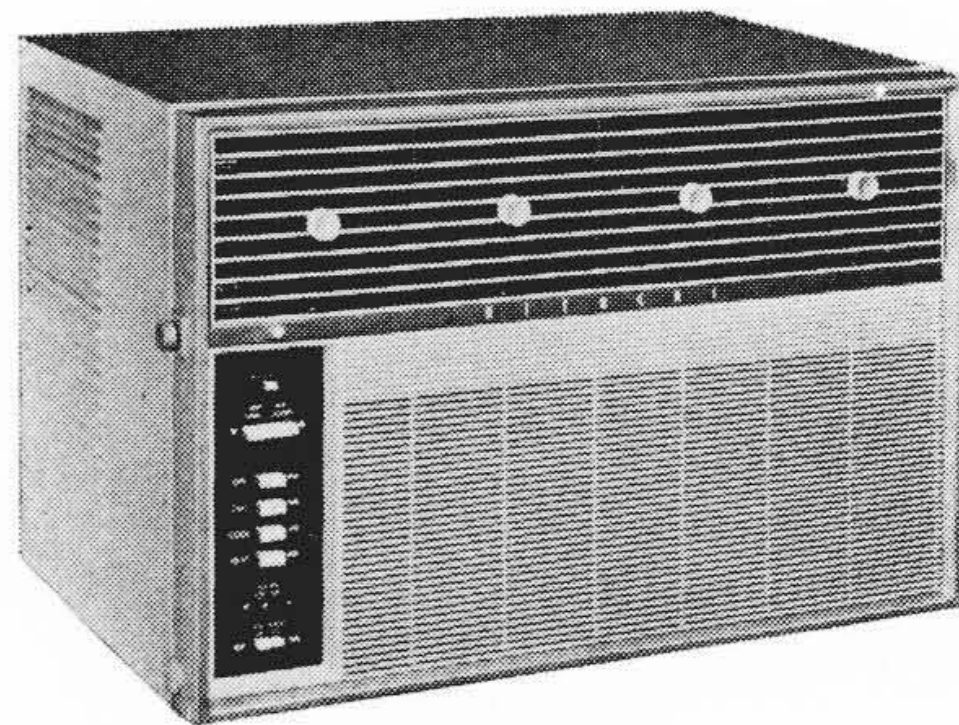
(1) RW-500 形(500W, 1 ϕ , 100V), RW-600 形(600W, 1 ϕ , 100V)



第 34 図 RW-500 形 ルームクーラー



第 35 図 RWT-750 形ルームクーラーのスライドアウト



第 36 図 RW-600H 形 ルームクーラー

家庭用普及形で特に RW-500 形は小形でロータリースイッチを採用しているの、取り扱いにはきわめて簡単である。RW-600 形は強弱 2 段の風量変換が可能で、また排気ダンパがついている。なお RW-500 形、RW-600 形にはリモートコントロールスイッチが使用できる。

(2) RW-750 形(750W, 1 ϕ , 100V), RWT-750 形(750W, 3 ϕ , 200V)

温度調節器が付属しており、煙草などでよごれた室内空気の排気が可能である。単相用 RW-750 形にはそのほか風量変換およびリモートスイッチの取り付けが可能となっている。

(3) RW-600 H 形(600W, 1 ϕ , 100V, 1.8 kW ヒータ付), RWT-750 H 形(750W, 3 ϕ , 200V, 2.1 kW ヒータ付)

暖房装置付ルームクーラーで特に RW-600 H は風量変換および排気が可能で、リモートスイッチが付属品として付いている豪華版である。RWT-750 H 形には温度調節器が付属している。

7.2.3 電子冷蔵庫

本項については 28.3.7 項の電子冷蔵庫を参照されたい。

7.2.4 エアコンデিশョナ

本項については 20.6 項のエアコンデিশョナを参照されたい。



第37図 RD-610形日立電気釜各部写真

7.3 電熱応用品

7.3.1 電気釜

RD形電気釜は直熱式で特に、釜と底釜とが別々に分離でき、電気釜としてご飯たきはもちろんのこと、底釜はそのまま非常に効率のよい電気こんろとして湯沸し、煮ものなどが自由にでき、1台で「たく、蒸す、煮る、沸す」など多用途に使い分けられるセパレートタイプで、電気釜の新しい行き方を示すユニークなタイプとして好評を博している。RD-610形は2lだきで600W、510形は1.5lだきで550W、410形は1.0lだきで450W、それぞれいっさいの蒸しものができる蒸板とお米も計れる便利な計量コップがついていて、軽快なタッチの押ボタン操作である。

おもな特長として、

(1) 釜を熱盤に密着させる直たきができるため、水加減は米の水加減だけでよく、それも釜の水位線で簡単にできる。しかも早くたけて消費電力も少なく経済的である。

(2) サーモスタットはユニークな差込式で、そのまま簡単に熱盤からはずせ、たき具合の温度調整が容易にできる。

7.3.2 電気アイロン

I H-350形300W、I H-450形400W アイロンは、ともに明るい色調のツートンカラーハンドルの高級アイロンで、架台およびアイロンがけ中にじゃまにならないよう、右横向きにコードを出したアイロンプラグ付である。

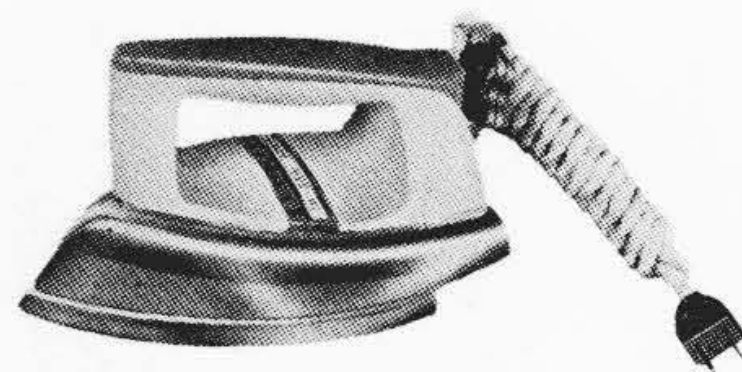
I H-340形300W、I H-440形400W アイロンは、ベース温度の調節に便利な点滅スイッチ付としたツートンカラーハンドルの高級自立形アイロンである。またI A-520形500W自動アイロンは一段と改良された高性能長寿命の自動温度調節器付で、ワット数が十分なので、効果的かつ能率的なアイロンがけができる。ハンドルはスマートで握りやすく疲れない合理的な形状とし、明るい色調のツートンカラーとなっている。

7.3.3 自動温水器

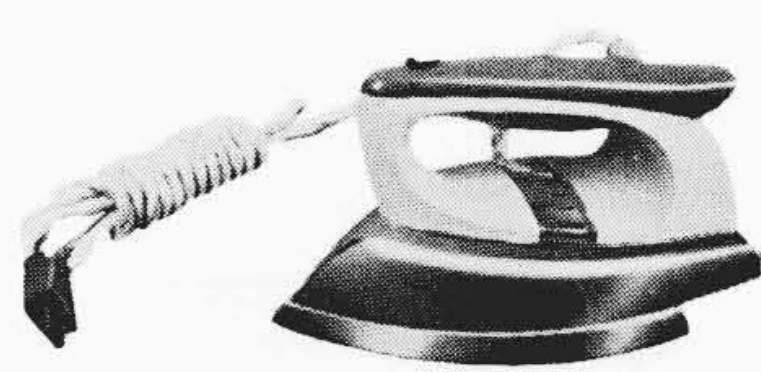
一般家庭はもちろん、旅館、飲食店、病院、ビルの事務所などの合理化に一段と役だつものとして、自動温水器WT-610形およびWT-110形が完成し好評を博している。前者は保温の良好な二重構造の湯沸形で、7lまでの水を自由に希望の温度に調節でき、使用量が容易にわかる水位計付である。また持運びに便利な取手をつけて、内部の洗浄も容易にできるようになっている。後者はタンク全周を保温材で断熱した二重構造の水道直結形である。ヒータは熱効率のすぐれたシーズヒータを収納し、湯温約85°Cを常に保つようになっている。タンク容量は20lでレバー操作により湯または水および湯水の混合ができるので、希望の湯温が得られるなどの特長を有している。なお従来この種温水器の欠点であった水温上昇に伴ういっ水を防止した日立独特の構造で、壁掛、据置のいずれにも取付けられるようになっている。

7.3.4 自動ウォーマー

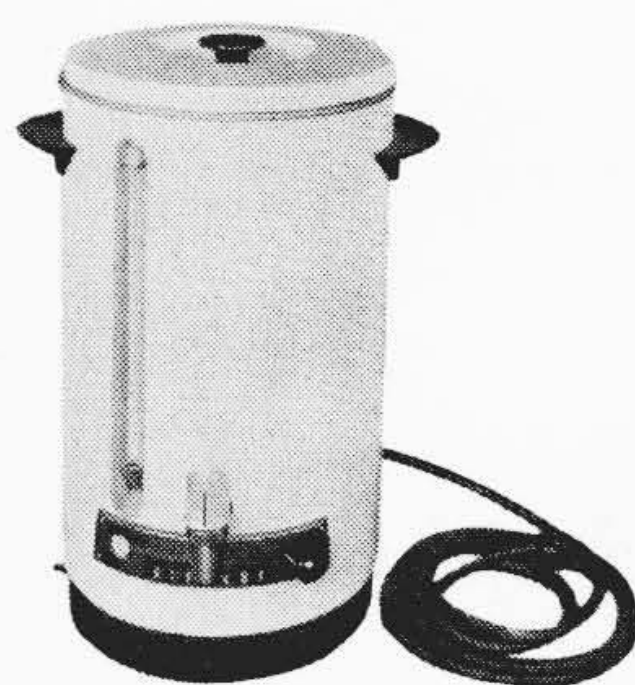
CM-310形日立自動ウォーマーは、各種の液状食品を自動的に加



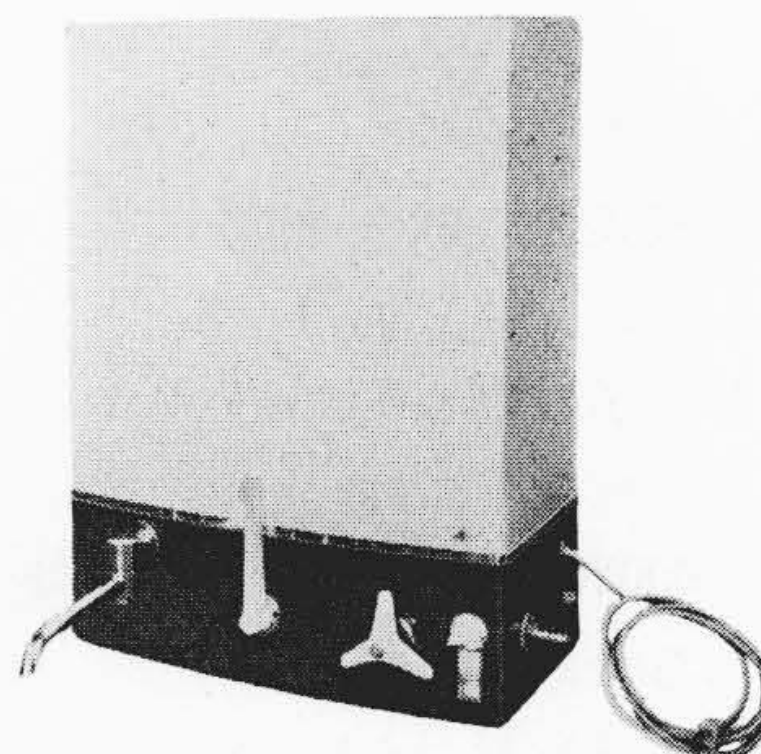
第38図 I H-350, I H-450形日立アイロン



第39図 I H-340, I H-440形日立アイロン



第40図 WT-610形600W
7l自動温水器



第41図 WT-110形1kW
20l自動温水器



第42図 CM-310形日立自動ウォーマー
350W 850cc

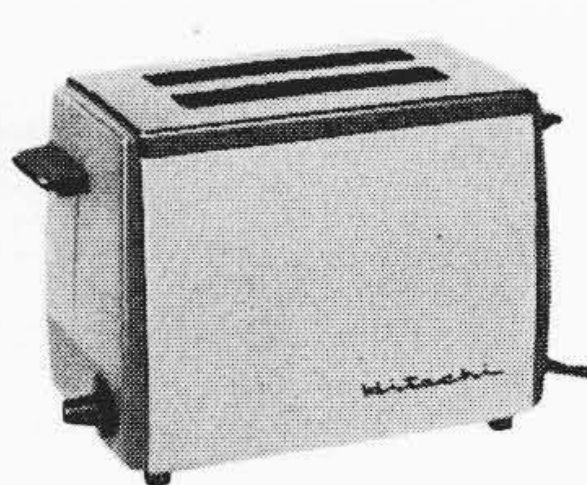
熱し、経済的に保温できる自動温度調節器付で、一般家庭はもちろん、乳幼児、病人用としても好評を博している。特に器体は外わくおよび容器の二重構造で、保温効果をもたせ、ふたは容易に取はずしができ、かつ食品などを食器に移すには、指で開閉ができるようになっている。

7.3.5 トースター

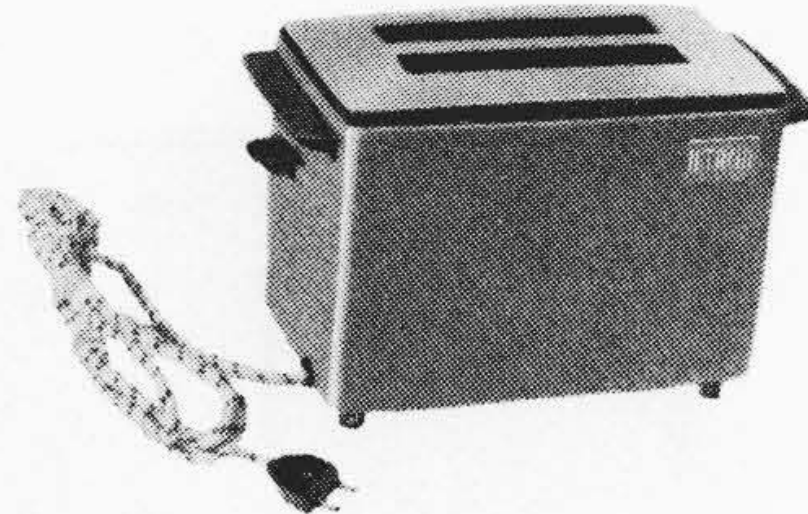
TA-630形自動トースター 600W

自動機構を備えた2枚焼きポップアップ式の新形で、時計仕掛けのタイマーと、操作レバー連動のスイッチを内蔵しており、使用条件(電圧、パンの厚さ、パンの水分、焼き加減の好み)に応じて、自由に調節できるアジャスターを備えている。

TU-630形トースター 600W



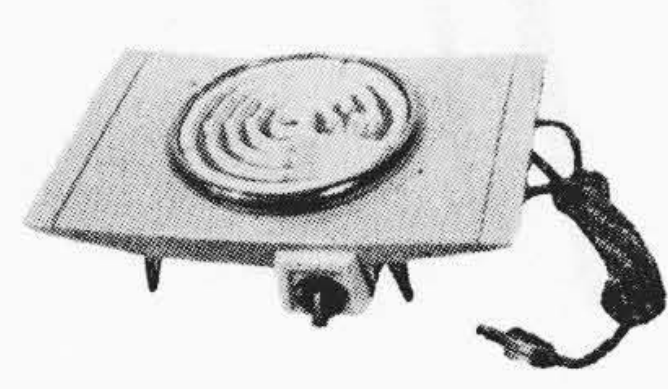
第43図 TA-630形
自動トースター



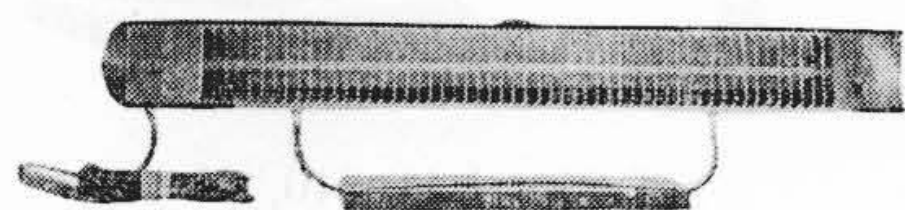
第44図 TU-630形
トースター



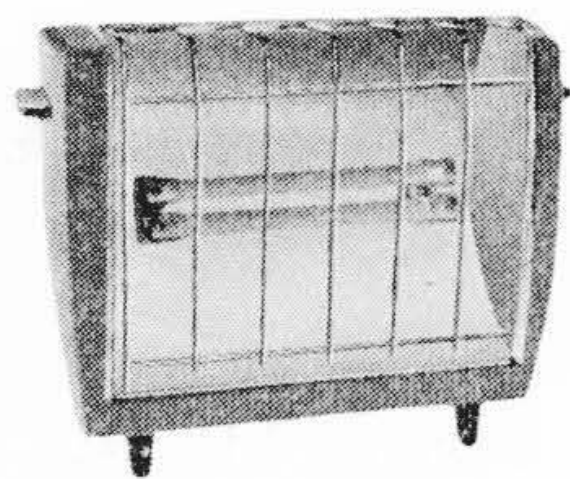
第45図 HS-620形こんろ



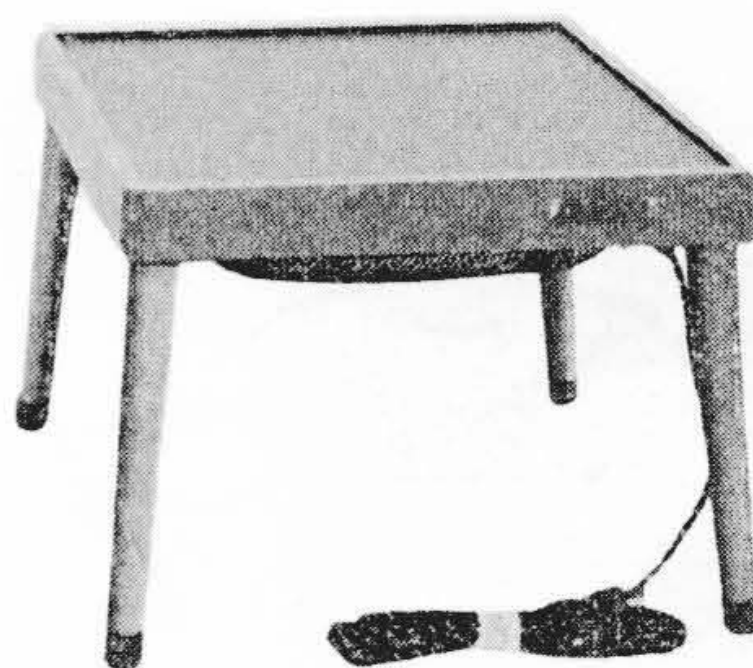
第46図 HS-630形こんろ



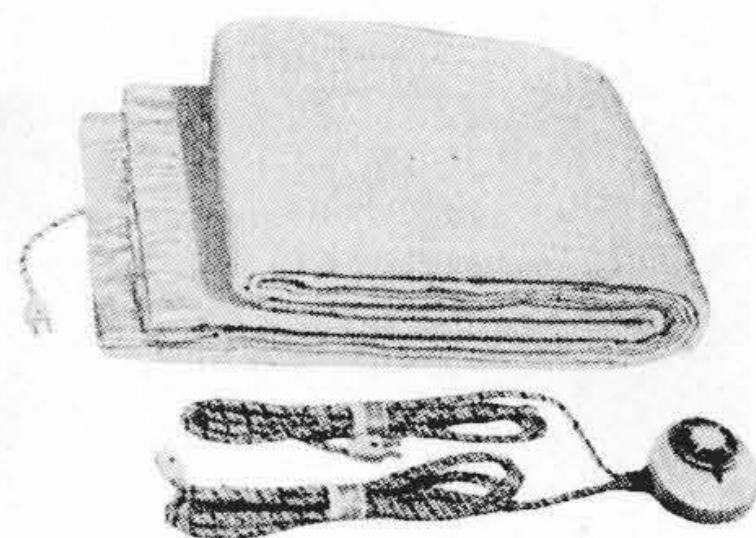
第47図 VH-14形 1kW
ラインタイプストーブ



第48図 VH-85形 800W
角形ストーブ



第49図 KY-32形 300W
やぐらこたつ



第50図 YB-12形 A140W
高級毛布

手動式で、レバー連動スイッチを備えた実用形である。

7.3.6 こ ん ろ

HS-620形こんろ 600W

ロータリスイッチを備えており、とろ火でも使える温熱式の新形で、600W—300W—150W—OFFの4段階の切替操作ができる高級こんろである。

HS-630形こんろ 600W

4段切替スイッチ付の斬新なデザインで、消費電力を、600W—400W—200W—OFFに使い分けでき、使用範囲が広い。

いずれも床面の温度上昇が低く、さらに、安定度の高い合成樹脂製の脚を使用しているので、テーブルや和卓の上で使用しても、塗装面や、テーブルクロスを損ずることがない。

7.3.7 暖 房 器

(1) ス ト ー ブ

最近のストーブは、単に暖をとる目的のほかに、室内装飾を兼ねたものとしての要望が非常に強くなってきている。

このような実状に対処し、36年度ストーブは、性能はもちろんのこと全面アルミゴールドのガードに、スマートなベースを取付けるなどラインタイプストーブのデラックス、VH-84形、VH-14形をはじめ、すっきりした角形の新種、VH-85形(800W)は、800—400—OFFと3段に切換えができ、600Wと1.2kWの、中間需要層に電力切換可能機種として生産したもので、大きな期待がかけられている。

(2) こ た つ

好評であった反射こたつに加え、新たに、発熱体にシーズヒータを採用したKY-32形(300W)とKY-33形(350W)やぐらこたつを製作、従来までの反射こたつに比し、ここち良いやわらかな採暖感が得られ、しかも採暖温度はレバー一つで簡単に調節できる。

また特殊銅管に発熱体とマグネシヤを組み込んだシーズヒータは、寿命が長く半永久的で、さらに低温であるため紙などふれても発火の心配がなく安全である。

(3) 毛布、敷布

YB-12形(140W)電気毛布は、コントローラの働きにより室温が変化しても常に一定温度を保ち、一度使用したら絶対に手放せない便利なものである。しかもコントローラのほかに発熱体に直列に、6個のサーモスタットが接続され局所的な異常加熱をも未然に防ぎ絶対的な安全性を誇りとする。

内部構造の特長としては発熱体を心地に縫いつけて、封筒式毛布にそう入する方式を採用したので安全であるとともに、洗濯によるヒータ寿命の短縮など懸念される点につき大きな改良点を加えられた。

YS-21形(25W)、YS-32形(30W)電気敷布には、特に大形の高級生地を使用し、内部構造は毛布と同様防水式、可洗式であるうえに、封筒式に内部着脱式として使用上の寿命を倍加した。

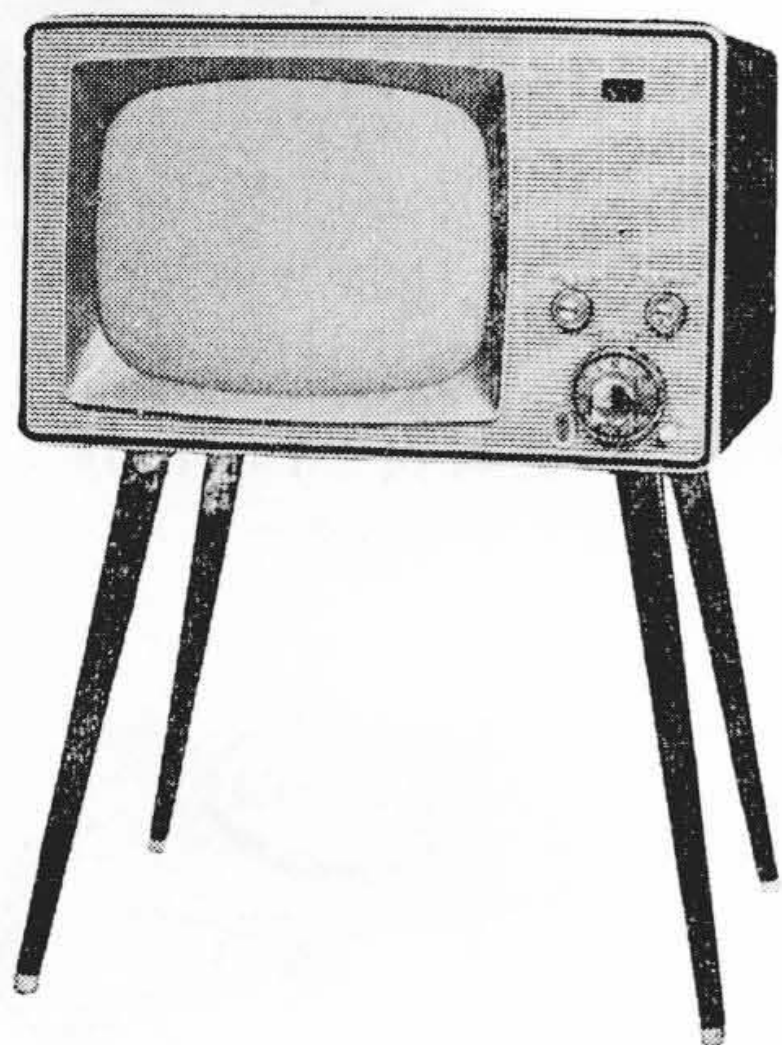
また温度調整は強・弱・切の3段切換方式で、調整用、保安用と2個のサーモスタットを備え、安全度においても寿命においても、非常に大きな改良品が完成した。

7.4 テレビ・ラジオ・ステレオ再生装置

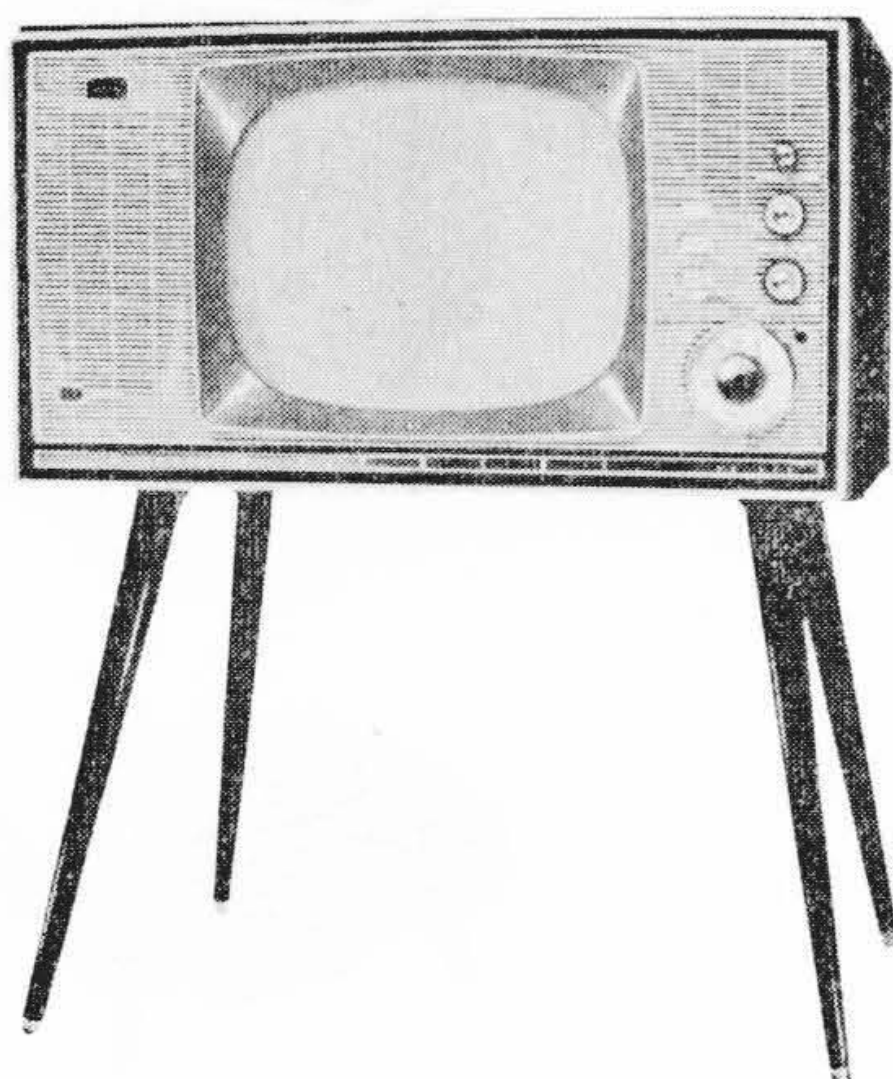
テレビ・ラジオ・ステレオ・テープレコーダなどの家庭用音響製品は35年度に実行された質および量的な発展のあとをうけて、36年度は引き続き部品、回路、意匠に対する日立独自の総合基礎技術が盛り込まれて、大幅な質的向上がなされたが、需要者のより高い品質と、より低い価格への要望に適合して量的にも大きい進展があり、たとえばテレビ受信機において一機種30万台以上という記録的な販売を可能とした。

またラジオ受信機においてはトランジスタ受信機に從來ありがちであった性能のバラツキについて徹底的な検討がなされ、新しい設計生産方式によるきわめてバラツキの少ない製品を送り出すことに成功した。

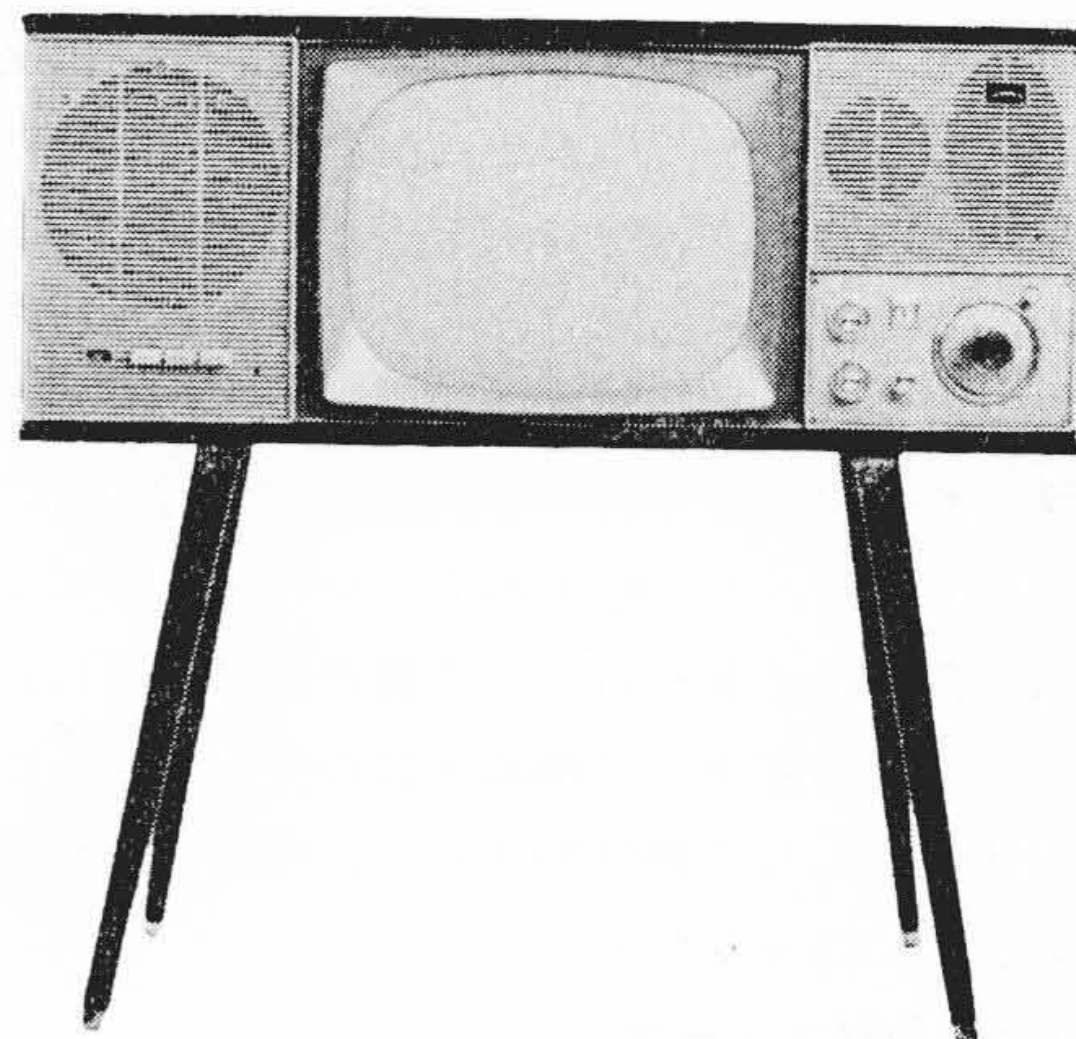
ステレオおよびテープレコーダは高性能化と商品性の追求が並行して進められ、需要者に対して高い評価をうることができた。



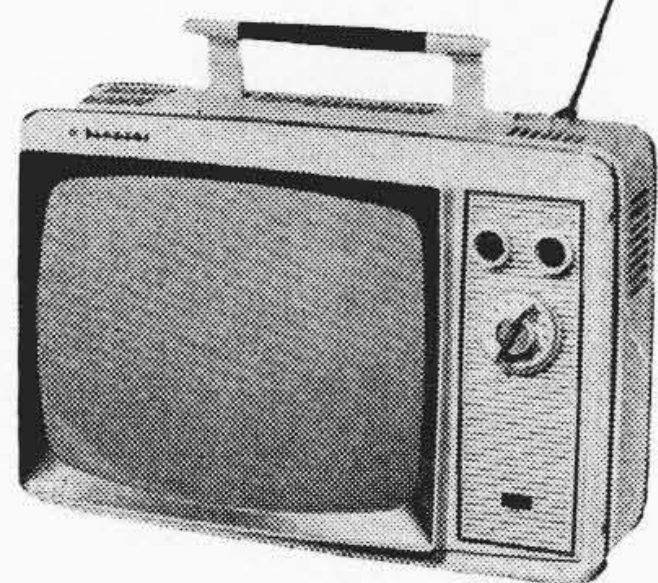
第51図 “シルビア” FY-940



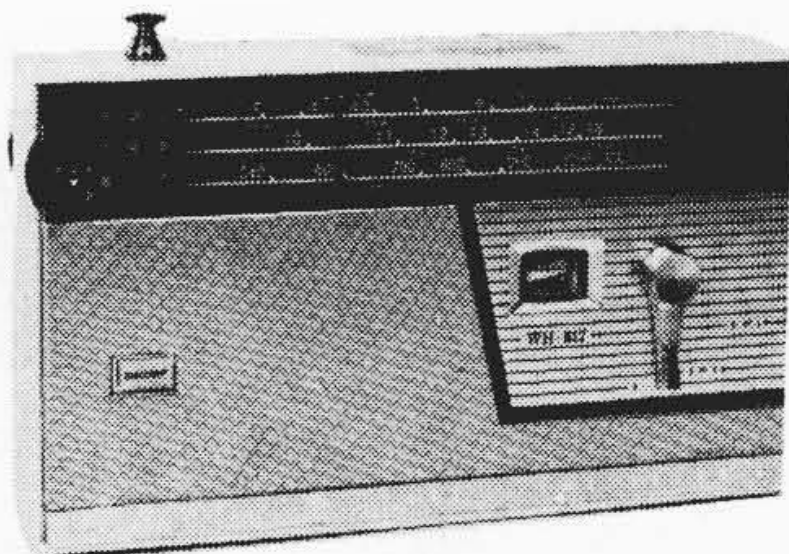
第52図 “スザンナ” FY-810



第53図 “オフェリア” FY-250



第54図 “アイリーン” STX-850

第55図 高級3バンドラジオ
“ペギー” WH-817第56図 高級2バンド
ラジオ“ケリー”
WH-855

7.4.1 テレ ビ

テレビ関係では、広い需要層に満足のゆくように、機種の実を
図った。たとえば、テレビとして最低限必要と思われるもののみと
したシンプルなものから、徹底したデラックス形のもの、さらに特
筆すべきものとして、世界最初の16形ポータブルテレビや、高性能
電子管ニュービスタ使用による高感度のものなどである。一方輸出
向の専用機種としては各国まちまちの仕様に即応できる設計のもの
を各種完成した。なお、カラーテレビの回路簡素化、実用価値の十
分に高いトランジスターテレビ回路、UHF テレビコンバータの完
成など成果をあげた。

(1) “シルビア” FY-940

テレビとして最もシンプルなものであるが、性能的になんら劣
るところはない。むしろ、チューナ回路に従来使用していた4R-
HH2よりさらに高感度、低雑音で、より安定したフレームグリ
ッドタイプの4R-HH8を採用し、映像中間周波回路に4GM6
を採用するなど、従来の機種に比べ、高感度で安定性が向上して
いる。

(2) “スザンナ” FY-810

この機種は前面に低、高音それぞれ専用のスピーカを配し、音
響的には従来よりもバランスのとれたものである。デザイン面
においては、需要者から圧倒的な支持を受け、デザイン面でのテレ
ビに対する一つの典形ともいえるものである。

(3) “オフエリア” FY-250

この機種は特に音響面に力を注いだもので、セット前面に低、
中、高音専用のスピーカ3個を配し、また音声出力回路には6
BM8をプッシュプル回路として使用し、いままでにない音響効
果をあげている。

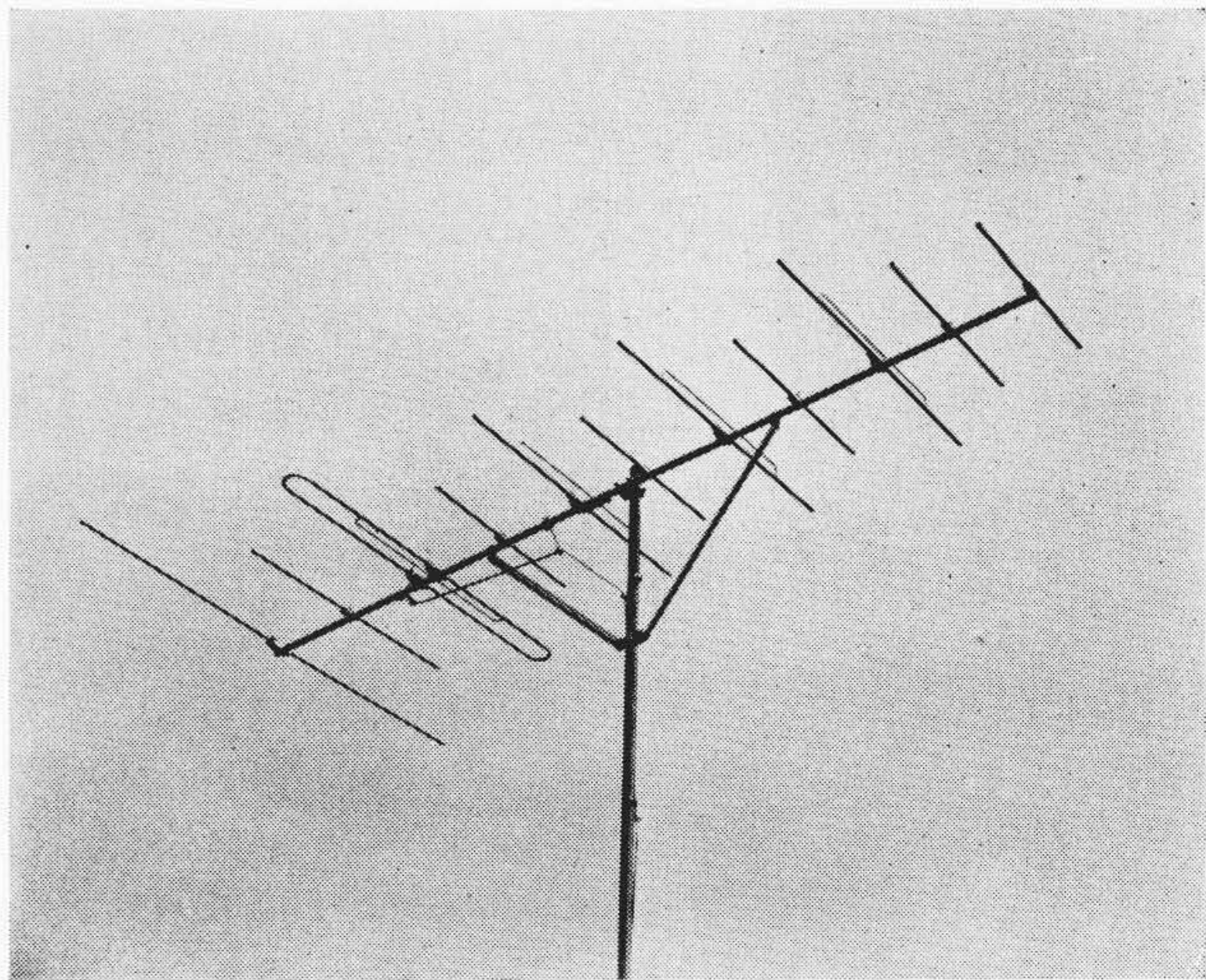
(4) “アイリーン” STX-850

従来の14形ブラウン管から一歩飛躍し、画面の四隅を拡張した
世界最初の“16形ワイドスクエア”ブラウン管を採用、奥行の浅
い利点を生かした本格的な可搬形真空管式テレビである。

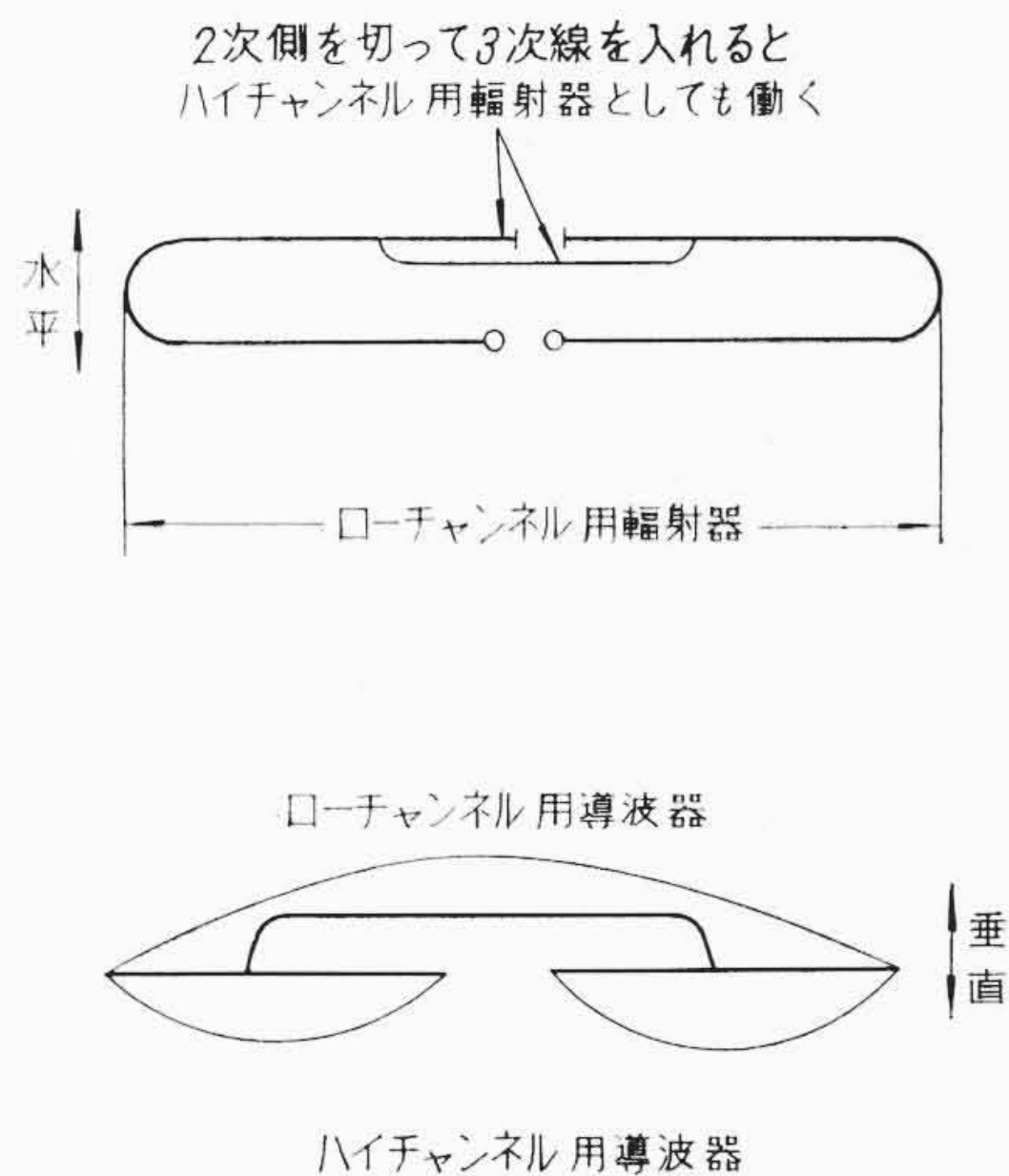
7.4.2 テレビ受像用アンテナ

(1) Dマッチ方式複合アンテナ

従来八木タイプのアンテナは非常に特性の良いものとされてい
るが、単一チャンネルがカバーできず、わが国テレビ放送の実情



第57図 「Dマッチ方式」複合オールウェーブアンテナ(11素子)



第58図 「Dマッチ方式」複合アンテナ

から見て12チャンネルのすべてをカバーする、すぐれたアンテナ
が望まれていた。

この目的に沿って開発されたのが複合アンテナである。複合ア
ンテナは図のように輻射器と導波器が特殊な形状をしており、受
信周波数が変化しても平坦なインピーダンス特性が得られる、指
向特性がすぐれている、2段4段の積み重ねが容易である、とい
う特長を持っている。

この複合素子の開発によって、11素子オールウェーブアンテナ
まで商品化され、現在弱電界や微弱電界でも容易にテレビ受信が
行なえるようになってきている。またカラーテレビの受信に使用され
色の忠実な再生に大きく寄与している。

7.4.3 ラジ オ

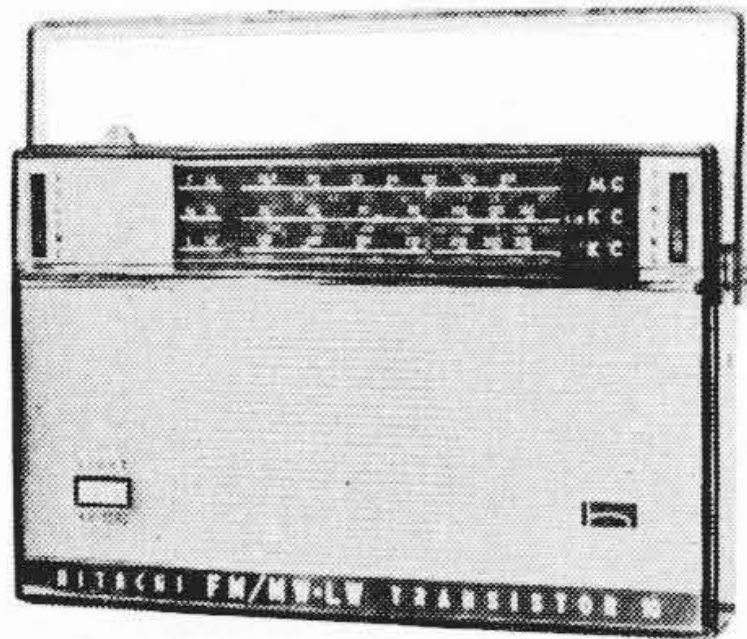
ラジオ受信機についてはこの一年間に海外でも高く評価される製
品を多数世に送り出してきた。これは性能的にすぐれていることは
もちろんであるが安定した品質を保持していることを示しており、
これが日立ラジオの今日をささえているものといえる。ここにその
代表的な機種を採りあげて紹介する。

(1) “ペギー” WH-817

短波も3.8 Mcから18 Mcまで受信できる3バンド高級ポータ
ブルラジオである。高周波増幅一段を含めて日立メサタイプトラ
ンジスタ3石(2SA130, 2SA131, 2SA132)を使用しているた
め全受信帯域においてすぐれた感度を有している。さらに同調指
示計も備えたファインチューニング方式を採用しているので短波
帯でも容易に同調できる。また同調指示計で電池の消費も一目で



第 59 図 超小形ポケットブル
ラジオ “アニー” TH-660



第 60 図 高級 FM/AM
ラジオ XH-1002

わかるようになっている。夜間でもプッシュボタンを押せばランプがつき楽に放送が選択できる。また外部入力端子を利用すればレコードプレーヤを用いて電蓄として使用できる。機構面ではギヤドライブ方式、バンド切換えのレバー方式を採用したので簡単に操作できる。

(2) “ケリー” WH-855

日立メサタイプトランジスタ 2 石を使用した 8 石 2 バンドポータブルラジオで高感度低雑音のセットである。特に回路、スピーカともに音質に重点をおいて設計されているため澄んだ音が聞かれる。またロッドアンテナ内蔵によりその取はずしの必要がなくなった。

(3) “アニー” TH-660

本機は日立メサタイプおよびリングベーストランジスタを使用した高感度の超小形ポケットタイプであり、温度変化に対しても新形日立サーミスタを使用しているのできわめて安定である。キャビネットにはサイコラック材料を用いたので衝撃に強く光沢があり、しかもソフトな感じがする。電池の取替えはケースの底部を開閉するだけで簡単迅速に行なえる。

(4) XH-1002

本機は長波、中波、FM の 3 バンドポータブルタイプでもおもにヨーロッパ向輸出用高級ラジオである。回路は 6 個の日立メサタイプトランジスタを含めて 10 個のトランジスタを使用し、シリコンダイオードによる自動周波数調整回路、高インピーダンススピーカによる出力トランスレス回路の採用など、感度、出力、音質そのほかあらゆる面で新しい考慮が払われている。検波出力および PU 端子も設けられてあるので放送をハイ・ファイで聞くこともできるし、電蓄にも利用できる。機構面でもバンド切換えのプッシュボタン方式、ギヤドライブによるダイヤル機構、ダイヤルランプの採用、首振りアンテナの使用など操作が簡単に行なえるように設計されてある。

7.4.4 ステレオ再生装置

ステレオ電蓄の生命である音質に関して、従来は主として測定器による物理的特性に依存してきたが、物理的特性と心理的な好みとの関連を検討して良い音の究明を行ない、他社をしのぐ音響特性をもつ製品ができるようになった。

(1) DPS-849 および 849 R

キャビネットがデラックスなうえにこのクラスの電蓄の常識を破って 20 cm スピーカを 2 個使用しているので、迫力のある忠実な音を再生することができる。SG-849 R ではさらに出力を増大しているので、普及形のセットとは思えない豊かな音を再生する。ピックアップはターンオーバーによって SP と LP・ST(ステレオ)とを切り換えている。

(2) DPS-961

シックなデザインでハイ・ファイ用の 20 cm スピーカを 2 個使用し、60~13,000 c/s までくせのないすばらしい音を再生する。



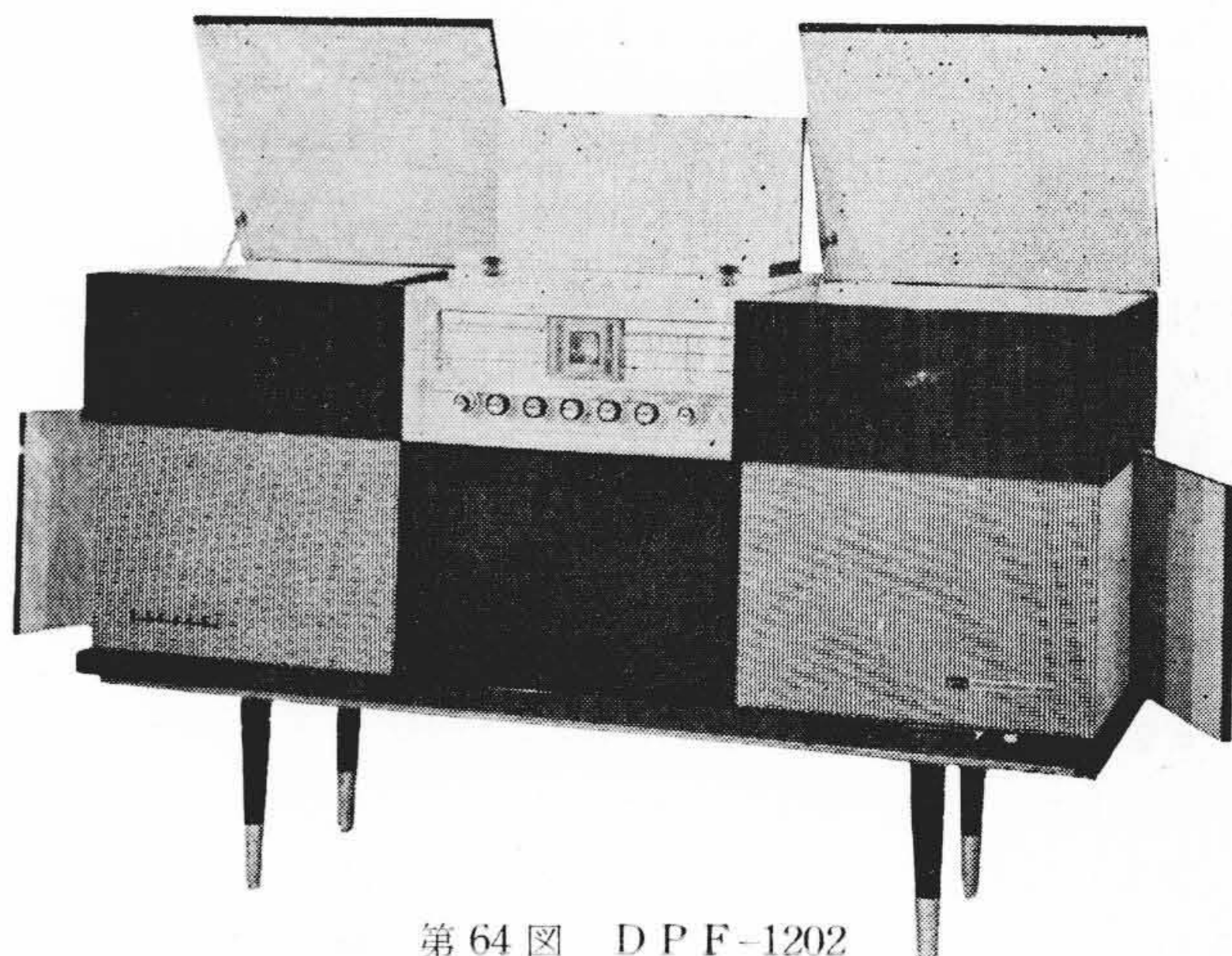
第 61 図 DPS-849R



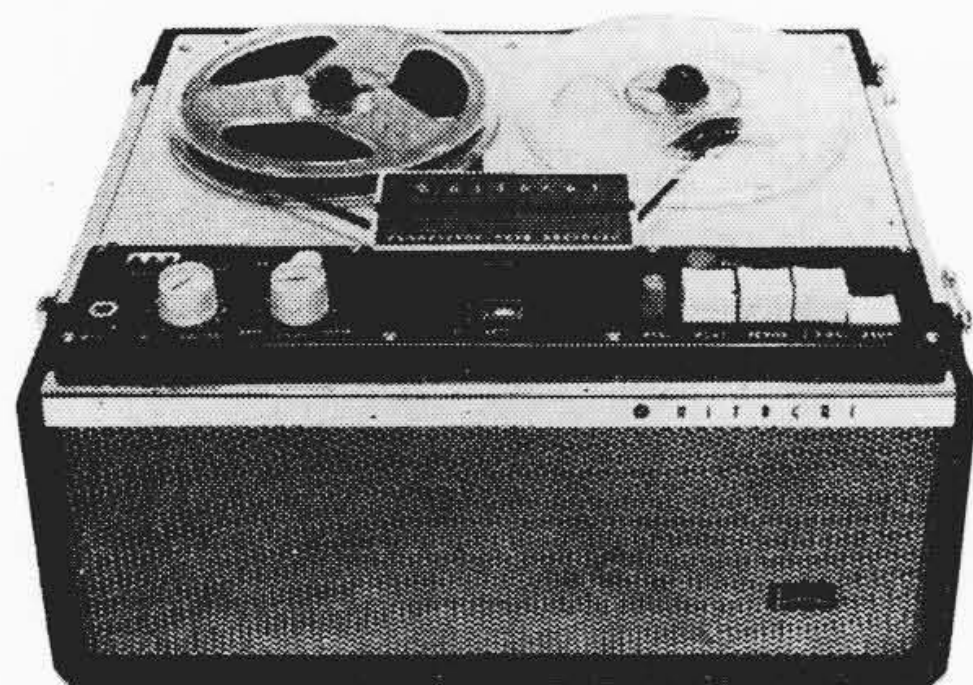
第 62 図 DPS-956



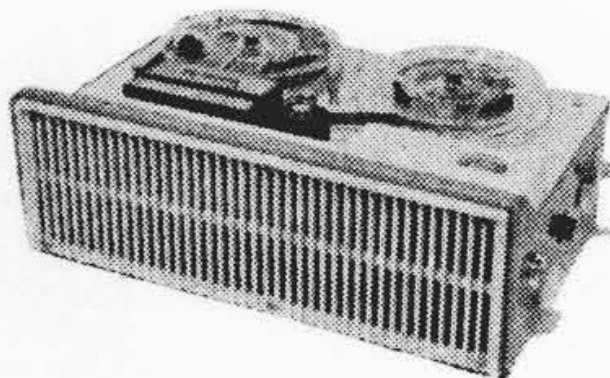
第 63 図 DPS-961



第 64 図 DPF-1202



第65図 TRQ-720 高級テープレコーダ



第66図 TRQ-399
ポータブルテープレコーダ



第67図 磁気テープ

ラジオ部分はフェライトアンテナを使用して感度を上げ雑音を少なくしている。ピックアップはモノラルとステレオにそれぞれ専用のカートリッジを用いたプラグイン式である。

(3) DPS-956

ヨーロッパ風の明るいデザインで20 cm および16 cm のハイ・ファイ用スピーカをおのおの2個ずつ使用し、低音から高音まですべての音をむらなく再生することができる。またキャビネット側面のリフレクタで音の広がり自由に変えられる。フェライトアンテナ自蔵、テープレコーダ、FM チューナなども接続できる。ピックアップはプラグイン式である。

(4) DPF-1202

豪華な高級キャビネットにハイ・ファイ用の20 cm および16 cm のスピーカを2個ずつ使用し、スピーカボックスは密閉形になっているのできわめて高忠実度の音を再生する。ラジオ部分は普通の国内放送、短波放送のほかにFM 放送も受信できる。フェライトアンテナ自蔵、リフレクタ付き、テープレコーダ、FM チューナ、TV などにも接続できる。

このほかステレオラジオ付き電蓄では横形として DPS-1057 (2万円級)、DPS-1033 (3万円級)、縦形としては DPS-531 (3万円級)、またプレーヤとして DPO-072 (5千円級)、DPO-071 (6千円級) を製品化した。これらのセットは中波バンドが2チャンネルであるからステレオ放送が受信できる。

7.4.5 テープレコーダ

昭和35年度より日立の新製品として登場したテープレコーダも市場において着々とその地歩を固めつつあり、その第一陣として発売された TRQ-370 は国内はもとより国外においてもその高性能が認められ輸出も逐次伸びつつある。一方 TRQ-370 に引き続く第二、三陣として、TRQ-720、TRQ-399 が発売され、その機種もようやく充実されようとしている。

(1) TRQ-720 家庭用中形テープレコーダ

AC ラインを電源とする一般家庭用中級テープレコーダで、木製レザー張りキャビネットに収められ、キャビネット前面に取付けられた15×25 cm というこのクラスにはほかに類を見ない高忠実度大形円スピーカによって、すばらしい再生音を楽しむことができる。また操作は押ボタン方式を採用して取扱いを容易にしてあり、その動力源であるモートルには、4極コンデンサラン形日立モートルを使用して速度偏差や回転むらの軽減を計っている。そして増幅回路はオールトランジスタ化されているため、消費電力が約40 W と少なく、電源スイッチを入れるとただちに動作する。

(2) TRQ-399 ポータブルテープレコーダ

TRQ-370 シリーズのポータブルテープレコーダで、電力容量の割合に価格の安い単2号乾電池4本を電源としているが、AC アダプタの使用も可能となっている。操作はレバー式を採用し、小形ながら早送りも備え、取扱いの便を図っている。またこの種

小形セットとしては最大の7×10 cm スピーカを前面に配し、500 mW という高出力と相まってすぐれた音響特性をもたせたため、人の肉声はもちろん、軽音楽程度の録音再生も十分に楽しめる高水準の製品である。

7.4.6 磁気テープ

最近急速な伸長が見られる小形録音機の普及に伴い長時間録音可能な薄手テープが要求されている。35 μ テープは一般に使用されているリールに長さ1.5倍のテープを巻くことができ、したがって1.5倍の録音時間を有するテープであり、そのうえ次の特長をもっている。

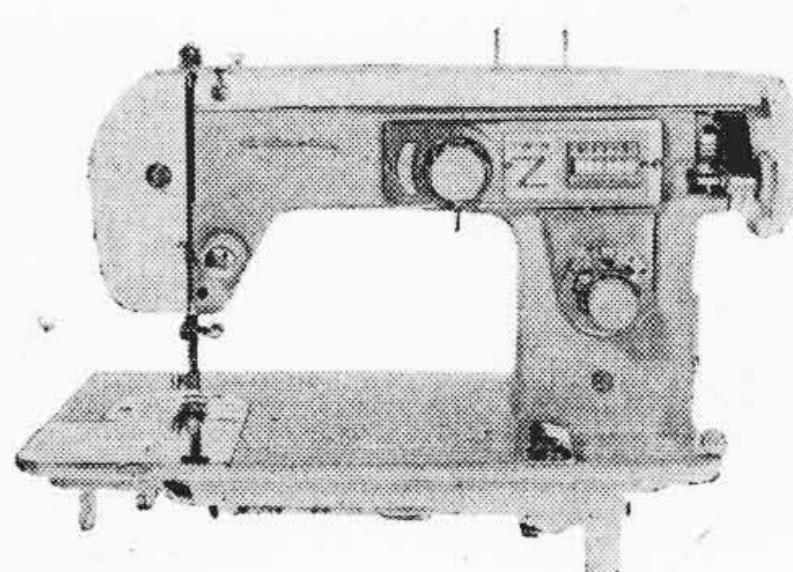
- (1) 磁性材料に高感度の微粒子が用いられ、それが均一に分散しているので高周波特性が基準品に比べ3 dB 高い。
- (2) 磁性膜の摩耗が少なく数百回使用後も音質の低下がなく半永久的に保存できる。
- (3) 帯電が大きいと雑音の原因になったり、テープの走行障害になって音質を害するが、35 μ テープは特殊な帯電防止剤で表面処理をしているためほとんど帯電が認められない。この35 μ テープの出現は乾電池式小形録音機の利用度を高め、また一般からも長時間録音用として重宝がられている。

7.5 ミシン

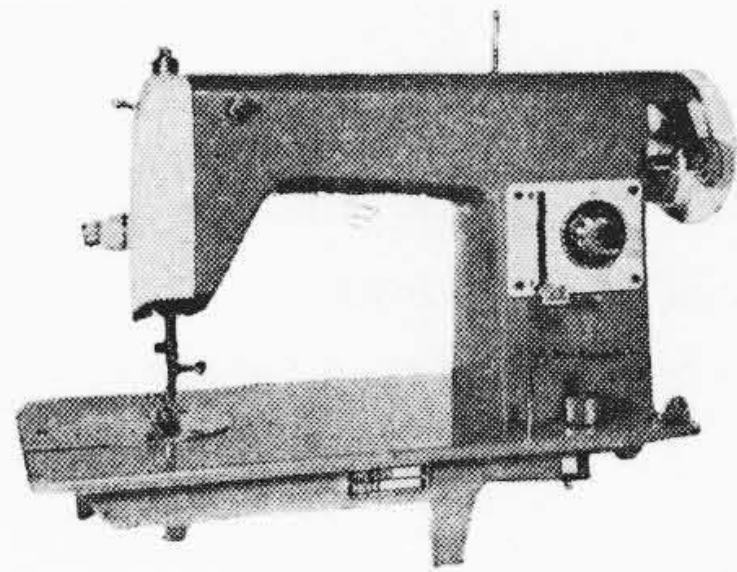
35年秋発売以来、爆発的な人気をよんだセミジグザグミシン Z S-100 形を、さらにより使いやすく改良した Z S-110 形は、折からのジグザグミシンのブームによって順調な伸びを示し、今後続々開発が見込まれている日立ジグザグミシンシリーズの第2弾として新しい需要層の開拓に大きな戦力となっている。

また日立ミシン発売以来ミシンの標準形として定評のある H C-220 形に代り、新たにミシンライトを内蔵しダイアル式送り調節機構をもった角形カム式ミシン H C-450 形が発売され、そのスマートなデザインと相まって早くも若い女性層の標準形ミシンとして確固たる地位を築きつつある。

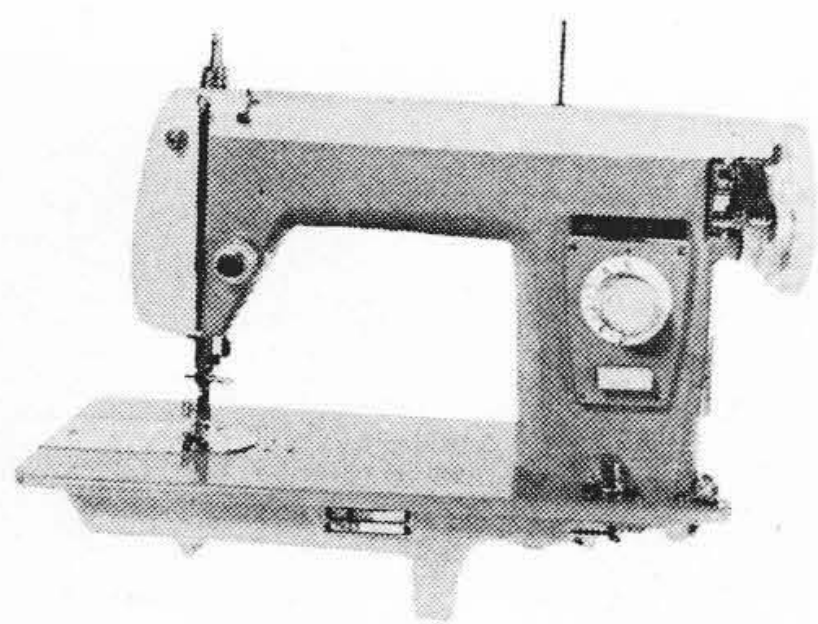
なお36年秋発売された H L-520 形は、従来のバック縫いの場合のプッシュボタンを押し続けることの手間を省いた画期的なバック



第68図 Z S-110 形ミシン



第69図 H C-450 形ミシン



第70図 HL-520形ミシン

縫い固定装置付プッシュボタンリバー機構で、実用新案申請中のものである。長い間業界の懸案であったバック縫い固定装置を他にさきがけ採用したこのHL-520形には日立ミシン今後の大きな飛躍の糧として期待されるところ大なるものがある。

7.6 その他

7.6.1 石油暖房器具

石油ストーブはほかの熱源に比し燃料費が安く、なんら設備を必要としないので手軽に使い、中毒などの危険性がないなど多くの利点を有しており、最近急に一般の関心が高まり、その需要も急増しつつある。

これらの利点に着目し36年度より3機種種の石油ストーブを生産開始した。

(1) OVC-41形石油ストーブ

6～8畳の洋間に適した、部屋全体を暖める対流形の石油ストーブであり、青い焰で完全燃焼をするので石油臭がない。また火災の危険性の少ない構造に設計されている。上にはダンパがついており開けばやかんなどをのせお湯を沸かすことができ、閉じれば周囲への放熱を増すようになっている。操作は簡単であり手軽で使いやすいストーブである。

(2) OVH-31形石油ストーブ

燃焼筒上部にニッケルクロム製のコイルおよび赤熱金網を有し多量の赤外線を出す反射形石油ストーブである。この赤外線は美しい反射鏡により前方へ一様に効率良く反射され、直接人体を暖めるので和室や人の出入りの多い部屋でも十分の暖がとれる。さらに置台を回転式とし、移動や点火操作の便を考え、やかんの乗せられるじょうぶなガードなど考慮が払われている。

(3) OVH-31形石油ストーブ

OVH-31形と同様の性能を有しデザインもほぼ等しい反射形石油ストーブであるが、さらに従来にない日立独特の自動点火方式でダイヤルを回すだけで点火できる便利なものである。

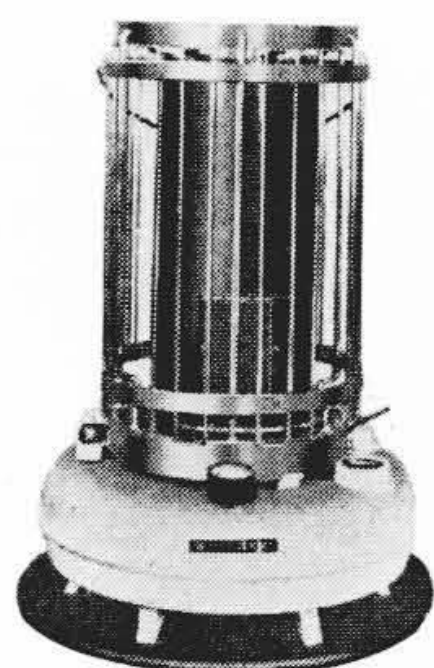
7.6.2 ガスストーブ

日立赤外線ガスストーブは、バーナ裏面の空気孔から燃焼に必要な一次空気の全量を吸入し、燃焼時に焰の周囲から二次空気がいらないシュバクバーナを採用した。燃焼によって、耐熱性とすぐれた断熱効果をもっている特殊陶磁器製セラミックプレートの表面を約850℃に赤熱し、赤外線を放射する。

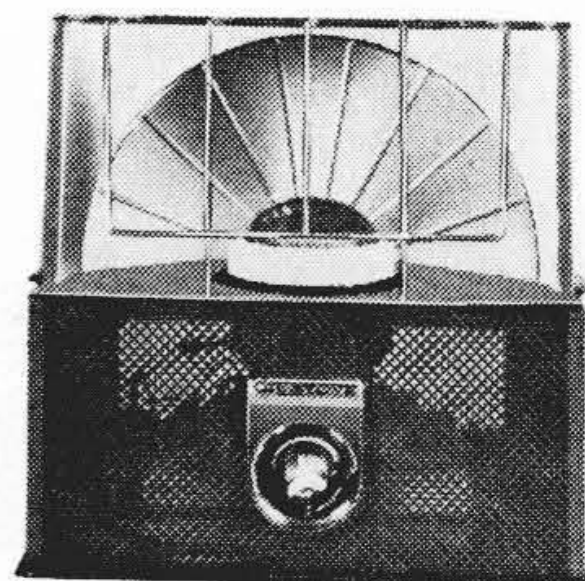
輻射効率がすぐれており、特に屋外や、出入りの多い室、または店頭のような風のあるところでの採暖効果が大きい、バーナを傾斜させて燃焼可能なので、ほかのガスストーブにはできない角度の調節ができるなどの特長がある。

全機種、操作が簡単で安全確実な自動点火コックを備えている。このなかでVSG-82形(都市ガス用)、VSP-82形(プロパンガス用)は、フロアスタンド式で、応接室、事務所、会議室などでの採暖に好適である。

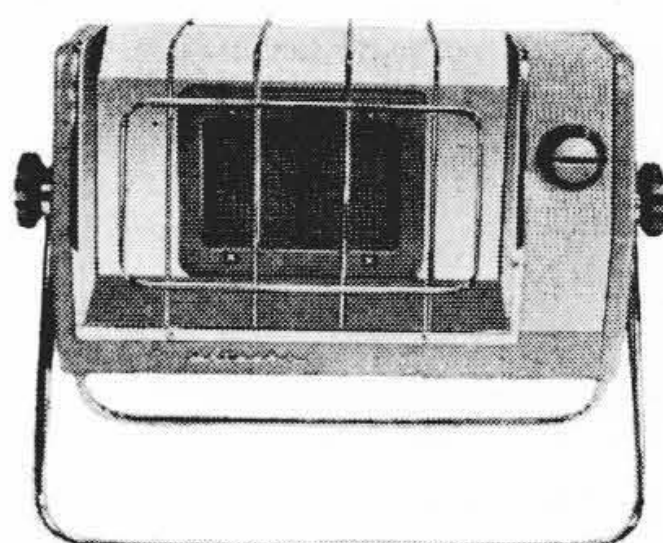
日立ガスストーブは、スケレトンを使用するブンゼンバーナを採



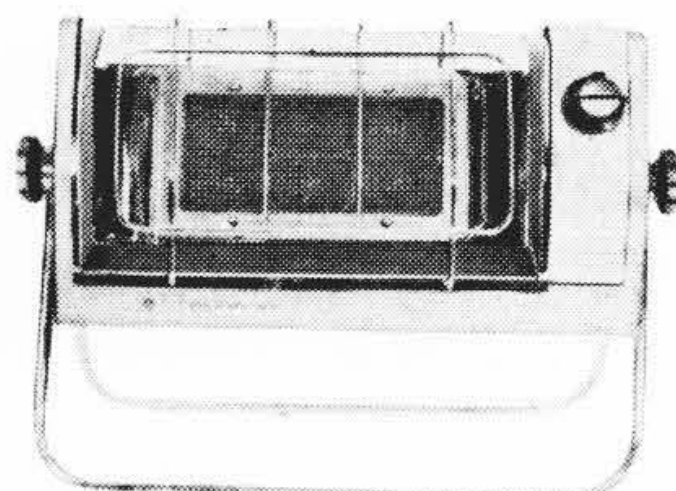
第71図 OVC-41形
石油ストーブ



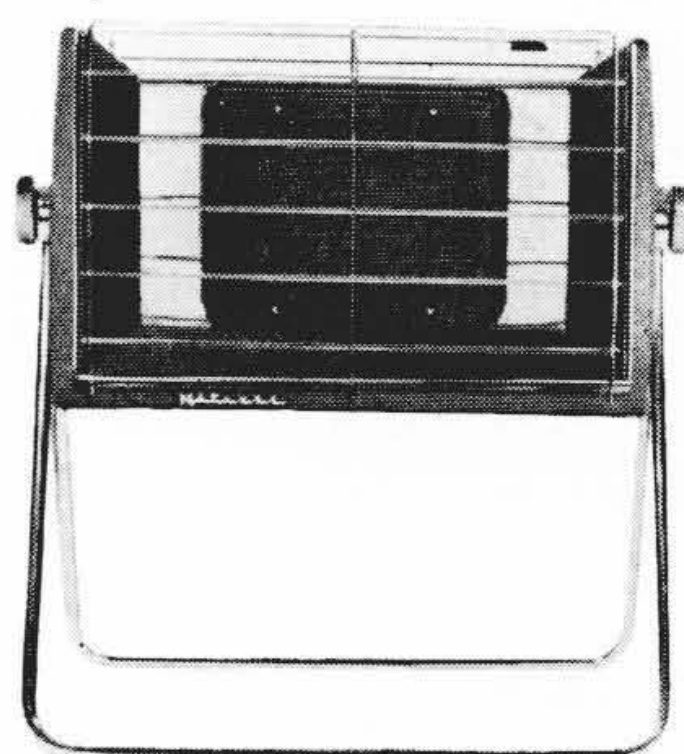
第72図 OVH-A31形
石油ストーブ



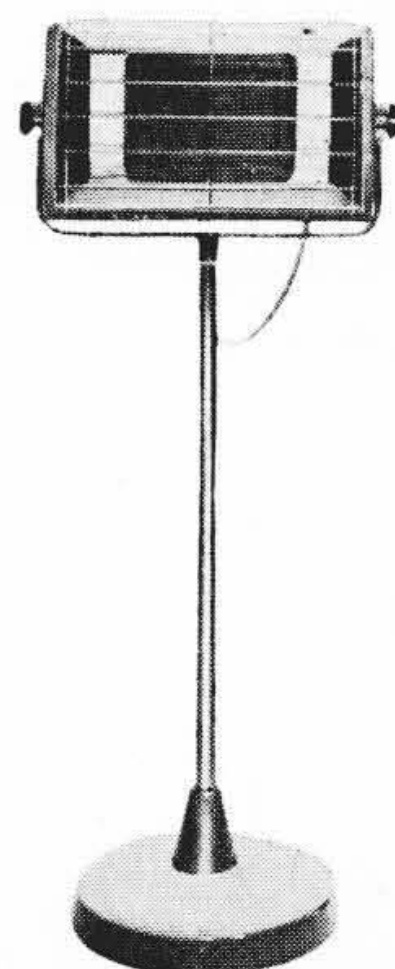
第73図 VSG-42形
赤外線ガスストーブ



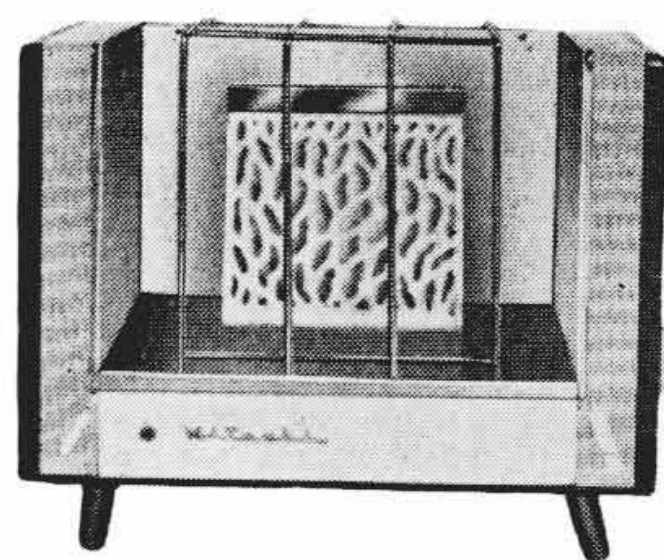
第74図 VSG-62形
赤外線ガスストーブ



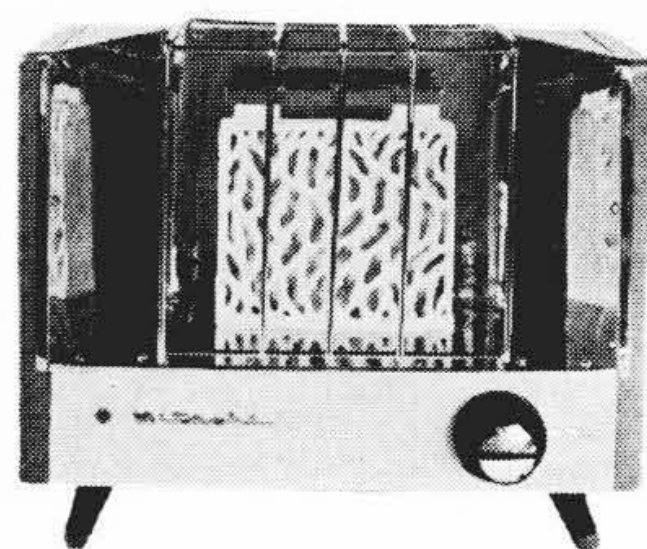
第75図 VSG-81形
赤外線ガスストーブ



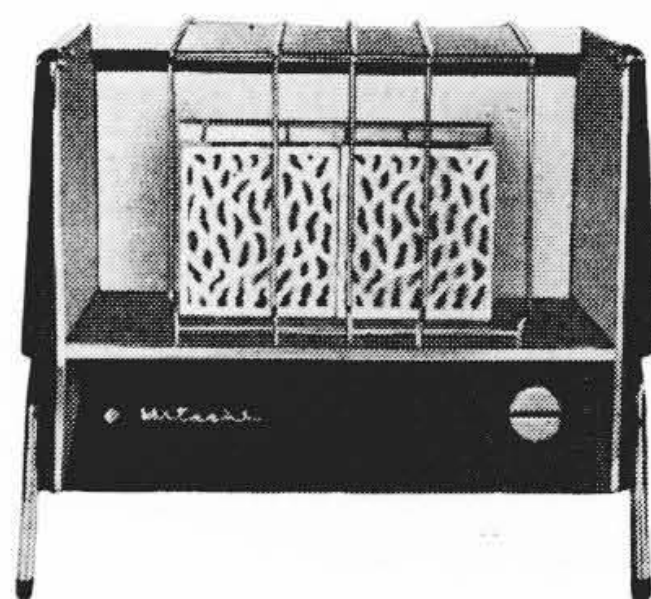
第76図 VSG-82形
赤外線ガスストーブ



第77図 VHG-22形
ガスストーブ



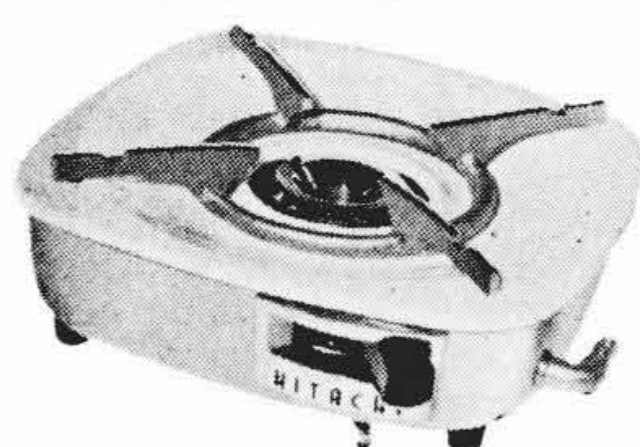
第78図 VHG-23形
ガスストーブ



第79図 VHG-31形
ガスストーブ



第80図 VVG-31形
ガスストーブ



第81図 HDG-21形ガスこんろ

用している。いずれも単一乾電池を電源とする自動点火方式を採用していることは、日立赤外線ガスストーブと同じである。操作が簡単でかつ安全なので、老人や子供でも安心して操作できる。コックつまみ、点火装置、空気調節つまみを1箇所にとめたので操作が便利である。ガードは簡単に着脱が可能であり、手入れが楽にできる。いずれも上面にやかんが乗せられる構造である。それぞれ都市ガス用、プロパンガス用がある。

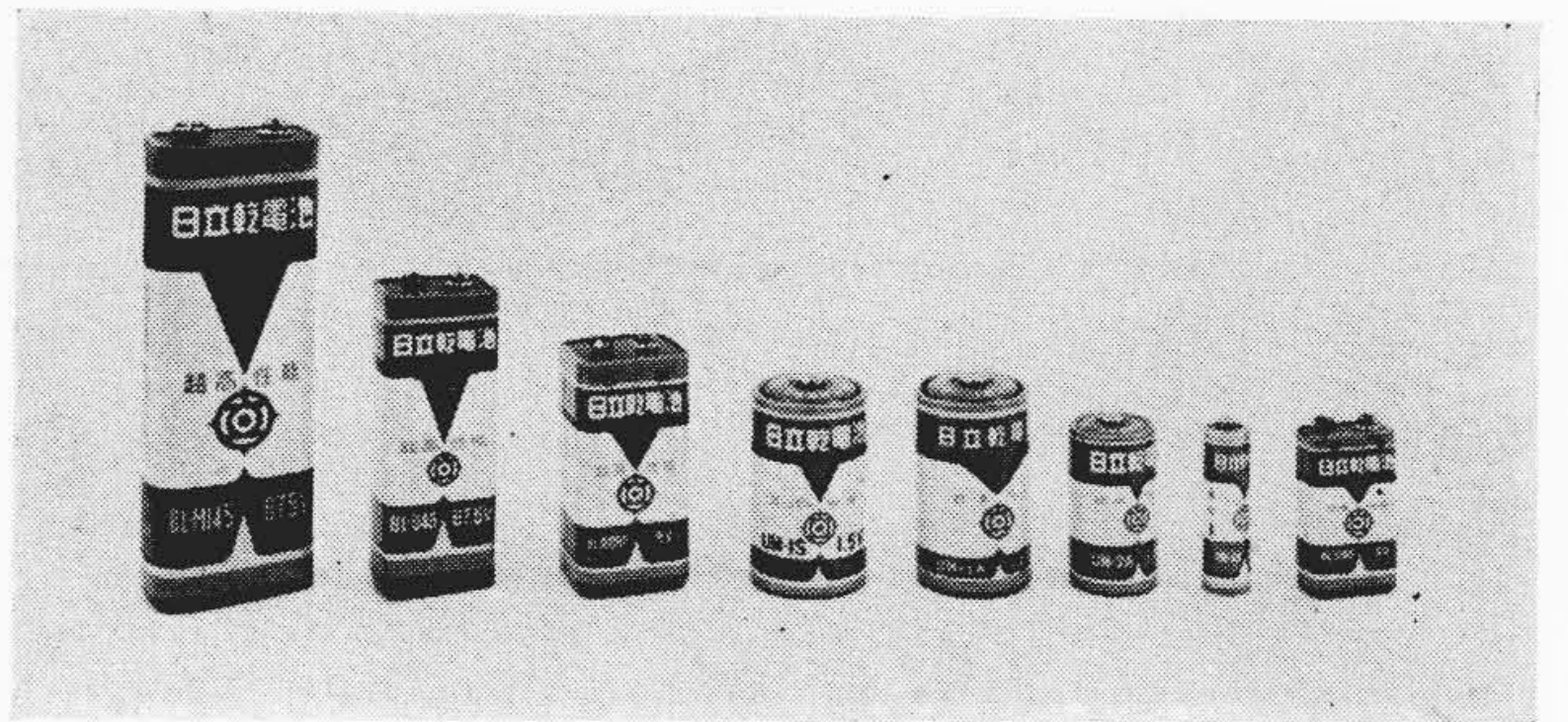
7.6.3 ガスこんろ

ガステーブルこんろ HDG-51形(都市ガス用)、HDP-51形(プロパンガス用)は、高級ステンレス鋼板を使用した2口形で、五徳、汁受皿、バーナがそれぞれ簡単にはずせるので、手入れが行きとどき清潔に使用できる。操作コックを使いかってに傾斜させてあるから、操作が容易であるとともに、左右どちらの向きでもゴム管が接続できる自在ホースエンドを使用している。

HS G-21形(都市ガス用)、HSP-21形(プロパンガス用)ガスこんろは、一口形で、場所をとらず、移動が容易な軽量形である。どちらも安全確実な、マッチのいらない自動点火式で、ぬれ手でも、片手で簡単に操作ができる。

7.6.4 乾電池

乾電池の需要増加は近年目ざましく、照明用やトランジスタラジオの電源にはもちろん、小形の音響機器から電気カミソリ、写真のフラッシュ、ガスライターに、さらには玩具にまでその利用範囲はきわめて広く今後もさらに新しい分野における利用が期待される有力製品である。



第82図　日立乾電池

日立乾電池は、昭和33年に初めて市場に進出したが、以来保存性を考慮した特殊絶縁材料の使用による長寿命、高信頼性を備えた製品の開発によって、現在市場における日立乾電池の基盤を確固たるものにしている。その裏付けとして、次の特長をもち文字どおり斯界のトップレベルをゆく日立乾電池として、国内はもちろん輸出にも大きな伸長を続けている。

- 特長：(1) 自己放電による自然消耗を防ぐため、独得の絶縁材料を使い保存性を高めている。
- (2) 高品質の電解二酸化マンガンの使用と特殊精製によって、容量が大きく長寿命である。
- (3) 電気エネルギーを伝えるためのカーボンフィルムには、独得の Grafite Film を使用しているため、安定した性能を保証する。

昭和36年度における日立金属工業株式会社の社外寄稿の成果

(昭和35年11月～昭和36年10月)

					35/11	12	36/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
事業所別内訳	本戸 若安桑深	畑松 来名川	工工工工工	社場場場場場	1	1				1	1		1			1	6
					2	3					3		1				0
										1							0
																	0
	合 計				3	4	0	0	0	2	4	0	2	0	0	1	16
寄稿先内訳	学協 新聞・雑誌等出版社	会 社		1					2	2		1					1
			3	3				2	2		1			1		5	
	合 計				3	4	0	0	0	2	4	0	2	0	0	1	16

昭和36年度における日立金属工業株式会社の社外講演の成果

(昭和35年11月～昭和36年10月)

					35/11	12	36/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
事業所別内訳	本戸 若安桑深	畑松 来名川	工工工工工	社場場場場場		3											3
					1			2	1	5						3	0
											3					2	12
					1												5
	合 計				2	3	0	2	1	5	3	0	0	0	0	5	21
講演先内訳	学協 その	の	会会他	2			2		2							1	7
					3			1	3	3						4	11
	合 計				2	3	0	2	1	5	3	0	0	0	0	5	21